

(健 I 169)
令和2年11月12日

都道府県医師会
担当理事(医師の働き方・産業保健) 殿

日本医師会
常任理事 松本吉郎
(公印省略)

「病院等の勤務環境に関するアンケート調査について（依頼）」の送付について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素、本会医師の働き方分野並びに産業保健分野に関し種々ご理解賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、令和2年度厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」の検討委員会においては、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策を検討する際の基礎資料とするため、昨年度に引き続いて実態把握を継続実施することとなりました。本調査は病院については平成27年度から実施されており今年度で6回目、有床診療所については平成29年度から実施されており今年度で4回目となります。

それを受け、厚生労働省医政局医療経営支援課医療勤務環境改善推進室および労働基準局労働条件政策課から本会あてに協力方依頼《別添参照》がありました。

既に調査依頼は各医療機関に送付されております。回答対象は全国の全ての病院および有床診療所で4つのカテゴリ分けになっており、調査方法は、厚生労働省の医療勤務環境改善のポータルサイト「いきいきと働く医療機関サポートWEB(いきサポ)」から回答となっております。また、回答期限は12月10日(金)となっております(詳細は添付の調査概要をご覧ください)。

つきましては、貴会におかれましては、管下の病院と有床診療所に対して、本アンケートの周知および回答へご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本調査内容は本調査は労働基準監督署による監督指導等を目的とするものではないためことを念のため、お知らせします。

記

令和2年度 病院等の勤務環境に関するアンケート調査について

1. 調査対象

…全国の全病院、全有床診療所

調査カテゴリ

- ①施設(病院・有床診療所の事務部門担当者等)
- ②医師(管理職でないフルタイム勤務の正規職員)
- ③看護職(管理職でない夜勤を行っているフルタイム勤務の正規職員)
- ④コメディカル(管理職でないフルタイムの正規職員(病院勤務のみ))

2. 調査時期

…令和2年12月10日(木)まで

3. 実施方法

…病院長、院長、看護部長及び看護管理者あての回答依頼文、施設票及び
医師・看護職・コメディカルの回答用IDを送付する。

回答者は、「いきいき働く医療機関サポートWeb」から回答する。

なお、職員調査票は無記名とする。

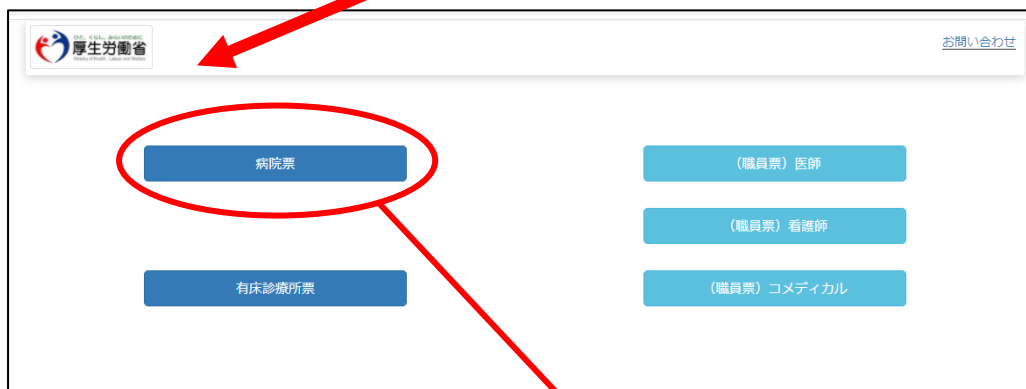
4. 主な調査項目

…勤務環境改善の取組状況、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う労働時間への影響等について確認する。

〈回答方法〉

厚労省の「いきサポ」にアクセスいただくと、トップ画面に「勤務環境に関するアンケート調査」のバナーがあります。

いきサポアドレス 《<https://iryou-kinmukankyou.mhlw.go.jp/>》



調査票の内容（病院・有床診療所・医師・看護師・コメディカル）については、別添4の各調査票をご参照ください。

事 務 連 絡
令和 2 年 11 月 10 日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚 生 労 働 省
医 政 局 医 事 課
労働基準局労働条件政策課

病院等の勤務環境に関するアンケート調査について（依頼）

医療従事者の勤務環境改善の推進につきましては、平素よりご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和 2 年度厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」の検討委員会においては、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策を検討する際の基礎資料とするため、別添 1 のとおり全病院及び全有床診療所を対象として標記アンケート調査を実施し、別添 2 及び別添 3 のとおり病院長及び院長等へアンケート調査への協力依頼を行っているところです。

つきましては、本調査・研究事業の円滑な実施のため、貴会会員に対し、標記アンケート調査の周知及び回答への協力依頼を行っていただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。なお、本アンケートは、調査事務局から各医療機関に依頼状が送付されますので、この点申し添えます。

【担当】 医政局医事課・労働基準局労働条件政策課
医療労働企画官 安里 賀奈子（内線 5352）
医政局医事課
課長補佐 西井 章浩（内線 4408）
代表 03-5253-1111 直通 03-3595-2261
FAX 03-3580-9644
e-mail : asato-kanako@mhlw.go.jp（安里）
nishii-akihiro@mhlw.go.jp（西井）

令和2年度 病院等の勤務環境に関するアンケート調査の実施概要

1 目的

厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」において、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策を検討する際の基礎資料とすることを目的として、昨年度に引き続いて実態把握を継続実施するものである。

なお、本調査は労働基準監督署による監督指導等を目的とするものではない。

2 調査対象

全国の全病院、全有床診療所を対象に、①施設（病院・有床診療所の事務部門担当者等）、②医師（管理職でないフルタイム勤務の正規職員）、③看護職（管理職でない夜勤を行っているフルタイム勤務の正規職員）、④コメディカル（管理職でないフルタイムの正規職員（病院勤務のみ））に対して実施する。

3 調査時期

令和2年11月10日（火）から12月10日（木）

4 調査方法

病院長、院長、看護部長及び看護管理者あての回答依頼文、施設票及び医師・看護職・コメディカルの回答用IDを送付する。回答者は、医療勤務環境改善のポータルサイト「いきいき働く医療機関サポートWeb（※）」から回答する。（施設表の入力時に、医療機関毎に昨年度の回答を参考として表示する。）

なお、職員調査票は無記名とする。

5 主な調査項目

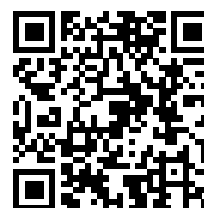
勤務環境改善への取組状況について確認する。

また、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う労働時間への影響等についても確認する。

6 調査結果の活用

調査結果は委託事業において検討の基礎資料とするとともに、事業報告書の中で主な調査結果を公表し、上記ポータルサイトにも掲載する。

いきいき働く医療機関サポート Web ↓



令和2年11月10日

病院長 様

厚生労働省委託事業
医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機
関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究

検討委員会委員長 酒 井 一 博
(公益財団法人大原記念労働科学研究所)

病院の勤務環境に関するアンケート調査へのご協力をお願い

拝啓 清涼の候、貴院におかれましては未曾有の災禍の中、ご苦勞はいかほどかと拝察致します。

世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、最前線で治療にご尽力されている医療従事者の皆様に、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。日本が他国のような感染拡大に至っていない状況は、**感染の危険に身を投じながらも懸命に医療に従事されている皆様のご尽力の賜物と思慮致します。**

このような状況下に変な恐縮でございますが、勤務環境改善に関するアンケートにご協力をいただきたくお願い申し上げます。**医療従事者の皆様の勤務環境改善は、安全で質の高い医療の提供や、病院経営の安定化等にも資するものと考えております。**平成26年10月施行の改正医療法において各医療機関が医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされたことを受け、医療従事者の勤務環境を改善し、安全で質の高い医療の提供や医療機関の経営の安定化等にも資するため、厚生労働省では医療機関における勤務環境改善の取組を支援・促進しています。

その一環として、厚生労働省委託事業による当委員会では、医療勤務環境改善の取組支援について検討を行うとともに、病院に対する支援の必要性についても検討を行ってきたところです。平成27年度から病院を対象として調査を開始し、入院機能を有する医療機関の勤務環境改善の取組状況を包括的に把握するため、平成29年度から有床診療所にも調査対象を拡大し、勤務環境改善の取組状況や勤務実態を把握するアンケート調査を実施しています。

より一層の医療勤務環境改善の施策推進のため、本調査の趣旨をご理解賜り、ご協力くださいますようお願い申し上げます。また、本調査の結果を各都道府県の医療勤務環境改善支援センターでより具体的に活用できるようにする等の目的から、病院票については病院を特定させていただいております。

なお、労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

ついては、添付の実施要領をご確認の上、アンケート調査票にご記入いただき、令和2年12月10日（木）までに回答用ウェブサイトにアクセスして回答をお願い申し上げます。

なお、ご不明な点につきましては、お手数ですが、本調査事務局までお尋ねくださいますようお願い申し上げます。

最後に、貴院の勤務環境改善の取組が医療の質の向上となりますことを祈念いたします。

敬具

※過去のアンケート調査結果は、「いきいき働く医療機関サポート Web（いきサポ）」でご覧いただけます。

令和2年11月10日

院長 様



厚生労働省委託事業
医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機
関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究

検討委員会委員長 酒 井 一 博
(公益財団法人大原記念労働科学研究所)

有床診療所の勤務環境に関するアンケート調査へのご協力をお願い

拝啓 清涼の候、貴院におかれましては未曾有の災禍の中、ご苦勞はいかほどかと拝察致します。

世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、最前線で治療にご尽力されている医療従事者の皆様に、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。日本が他国のような感染拡大に至っていない状況は、感染の危険に身を投じながらも懸命に医療に従事されている皆様のご尽力の賜物と思慮致します。

このような状況下に変えざるを得ませんが、勤務環境改善に関するアンケートにご協力をいただきたくお願い申し上げます。医療従事者の皆様の勤務環境改善は、安全で質の高い医療の提供や、病院経営の安定化等にも資するものと考えております。平成26年10月施行の改正医療法において各医療機関が医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされたことを受け、医療従事者の勤務環境を改善し、安全で質の高い医療の提供や医療機関の経営の安定化等にも資するため、厚生労働省では医療機関における勤務環境改善の取組を支援・促進しています。

その一環として、厚生労働省委託事業による当委員会では、医療勤務環境改善の取組支援について検討を行うとともに、診療所に対する支援の必要性についても検討を行ってきたところです。平成27年度から病院を対象として調査を開始し、入院機能を有する医療機関の勤務環境改善の取組状況を包括的に把握するため、平成29年度から有床診療所に調査対象を拡大し、勤務環境改善の取組状況や勤務実態を把握するアンケート調査を実施しています。

より一層の医療勤務環境改善の施策推進のため、本調査の趣旨をご理解賜り、ご協力くださいますようお願い申し上げます。また、本調査の結果を各都道府県の医療勤務環境改善支援センターでより具体的に活用できるようにする等の目的から、有床診療所票については有床診療所を特定させていただいております。

なお、労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

ついては、添付の実施要領をご確認の上、アンケート調査票にご記入いただき、令和2年12月10日(木)までに回答用ウェブサイトアクセスして回答をお願い申し上げます。

なお、ご不明な点につきましては、お手数ですが、本調査事務局までお尋ねくださいますようお願い申し上げます。

最後に、貴診療所の勤務環境改善の取組が医療の質の向上となりますことを祈念いたします。

敬具

※過去のアンケート調査結果は、「いきいき働く医療機関サポート Web (いきサポ)」でご覧いただけます。



病院の勤務環境に関するアンケート調査

厚生労働省委託事業 「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく
医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博（公益財団法人大原記念労働科学研究所）

拝啓 清涼の候、貴院におかれましては未曾有の災禍の中、ご苦勞はいかほどかと拝察致します。

世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、最前線で治療にご尽力されている医療従事者の皆様に、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。日本が他国のような感染拡大に至っていない状況は、感染の危険に身を投じながらも懸命に医療に従事されている皆様のご尽力の賜物と思慮致します。

このような状況下に変容縮小でございますが、勤務環境改善に関するアンケートにご協力をお願い申し上げます。医療従事者の皆様の勤務環境改善は、安全で質の高い医療の提供や、病院経営の安定化等にも資するものと考えております。

平成 26 年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業における当委員会では、病院における勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施しています。医療機関の勤務環境等に関して継続的に状況を把握し、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、今年度もすべての病院を対象に標記アンケート調査を実施します。本アンケート調査は、今後の医療勤務環境改善の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。また、本調査の結果を各都道府県の医療勤務環境改善支援センターでより具体的に活用できるようにする等の目的から、識別番号で病院を把握させていただきます。回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

本年度からアンケート調査は WEB で実施します。昨年度回答がある場合は、回答欄に昨年の回答を表記していますので、変更がある場合に訂正をお願いします。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を問う項目を追加で設けています。貴院の状況を踏まえてご回答をお願い申し上げます。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

敬具

《記入にあたってのお願い》

1. 貴院の勤務環境改善の取組状況等について把握している事務部門の担当者の方が記入してください。
2. アンケートの回答は12月10日（木）までにご回答ください。

■ 回答方法

- (1) 途中でWEBブラウザの「戻る」や「更新」ボタンは押さないようにご注意ください。
- (2) 回答開始から1時間以内にお答えください。
※1時間以上離席される場合、必ず画面上部・下部の「一時保存し終了する」を押してください。
- (3) 回答を再開する場合は、本アンケートのログイン画面にアクセスし、再度パスワード（依頼状に記載）を入力してください。途中保存したページから再開することができます。

■ 本調査に関する問合せ先

勤務環境アンケート調査事務局

- ・ 問い合わせ番号：0120-991-730
- ・ メールアドレス：support@tohmatu-kinmukankyou-chosa.jp
- ・ 開局期間：11月10日（火）～12月10日（木）
- ・ 開局時間：月曜日～金曜日 10時～17時（土日祝休み）

問 1. 開設主体を教えてください。（該当するものにチェックをしてください）

1. 国等（厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関)）
2. 地方公共団体等（都道府県、市町村、地方独立行政法人）
3. 公的医療機関（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）
4. 社会保険関係団体（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）
5. 医療法人
6. 個人
7. その他（公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人）

問 2. 病床区分のうち、最も多い病床を教えてください。（該当するものにチェックをください）

※最も多い病床区分の病床数が同数の場合は、一般病床を対象としてください。

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1. 一般病床 | 3. 療養病床 | 5. 結核病床 |
| 2. 感染症病床 | 4. 精神病床 | |

問 3. 貴院では、新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行っていますか。（令和2年6月時点。帰国者・接触者相談センターから紹介のあった疑い例の患者を含む）（該当するものにチェックをしてください）

1. 受け入れている
2. 受け入れていない

問 4. 問 2で回答した病床区分の病床利用率（小数点第 1 位まで）と平均在院日数を教えてください。（数字を入力）

〈令和元年度〉	病床利用率	<table border="1" style="display: inline-table; width: 100px; height: 20px;"><tr><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px; text-align: center;">.</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>			.		%
			.				
平均在院日数	<table border="1" style="display: inline-table; width: 100px; height: 20px;"></table>	日					

〈令和2年 6 月〉	病床利用率	<table border="1" style="display: inline-table; width: 100px; height: 20px;"><tr><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px; text-align: center;">.</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>			.		%
			.				
平均在院日数	<table border="1" style="display: inline-table; width: 100px; height: 20px;"></table>	日					

・病床利用率(%) = $\frac{\text{在院患者延数} \times 100}{\text{病床数} \times \text{日数}}$ （日数：年は365、6月は30）

・平均在院日数(日) = $\frac{\text{在院患者延数}}{(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数}) \times 1/2}$

**問 4-1. 問4の病床利用率の変化について、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたか。
(該当するものにチェックをしてください)**

1. 新型コロナウイルス感染症の影響があると考えられる
2. 新型コロナウイルス感染症の影響はほとんどないと考えられる

問 5. 医療機能のうち、病床数が最も多い機能を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

医療機能は、病床機能報告の考えと同様です。

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能

急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能

回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等

慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

問 6. 標榜している診療科目を教えてください。(該当するもの全てにチェックをしてください)

- | | | | | |
|----------------|------------|-----------------|-------------|----------------|
| 1. 内科 | 9. 皮膚科 | 17. 呼吸器外科 | 25. 整形外科 | 33. 婦人科 |
| 2. 呼吸器内科 | 10. アレルギー科 | 18. 心臓血管外科 | 26. 形成外科 | 34. リハビリテーション科 |
| 3. 循環器内科 | 11. リウマチ科 | 19. 乳腺外科 | 27. 美容外科 | 35. 放射線科 |
| 4. 消化器内科(胃腸内科) | 12. 感染症内科 | 20. 気管食道外科 | 28. 眼科 | 36. 麻酔科 |
| 5. 腎臓内科 | 13. 小児科 | 21. 消化器外科(胃腸外科) | 29. 耳鼻いんこう科 | 37. 病理診断科 |
| 6. 神経内科 | 14. 精神科 | 22. 泌尿器科 | 30. 小児外科 | 38. 臨床検査科 |
| 7. 糖尿病内科(代謝内科) | 15. 心療内科 | 23. 肛門外科 | 31. 産婦人科 | 39. 救急科 |
| 8. 血液内科 | 16. 外科 | 24. 脳神経外科 | 32. 産科 | 40. その他 |

問 7. 令和2年 6 月 30 日現在の職員について伺います。

①職員数(正規職員・非正規職員を含む実人数(常勤換算ではありません))

② ①のうち、フルタイム勤務の正規職員数(※1)

③ ①のうち、短時間勤務の正規職員数(※2)

を教えてください。(産休・育休・休職など稼働していない職員は除く)(数字を入力)

	①職員数(正規職員・非正規職員を含む)	② ①のうち、フルタイム勤務の正規職員数	③ ①のうち、短時間勤務の正規職員数
全体	() 人	() 人	() 人
うち、医師数	() 人	() 人	() 人
うち、看護職(※3)数	() 人	() 人	() 人

※1：フルタイム勤務とは、就業規則等で定められた週所定労働時間数(変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数)での勤務をいう(育児等による短時間勤務は除く)。

また、正規職員とは、雇用期間の定めがないものをいう(パート労働者等は除く)。

※2：短時間勤務とは、フルタイム勤務と比較して、短い週所定労働時間での勤務をいう。

※3：本調査での看護職とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指し、看護助手は含みません。

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

			人
--	--	--	---

離職率			.		%
-----	--	--	---	--	---

〈医師〉 週

--	--

 時間

--	--

 分

〈看護職〉	週			時間			分
-------	---	--	--	----	--	--	---

※6〈夜勤専従看護師〉 週

--	--

 時間

--	--

 分

1. タイムレコーダー・タイムカード	5. 自己申告
2. IC カード	6. 勤怠管理システム
3. 電子カルテなどのログ	7. その他（ ）
4. 出勤簿・管理簿	8. 労働時間を管理していない

さい)

-)

(数字を入力)

時間			分
時間			分

時間			分
時間			分

ださい)

- ### 3. ほとんど影響はなかった

職種を教えてください。（該当するものにチェックをしてください）

※7：当調査票でのコメディカルとは、医師及び看護職以外の職員（事務含む）を指します。

- ソーシャルワーカー

11. その他
()

問 15. フルタイム勤務正規職員の時間外労働手当について伺います。何に基づき、時間外労働手当を支払っていますか。（該当するもの全てにチェックをしてください）

1. タイムレコーダー・タイムカード・ICカード・電子カルテ等のログに基づき支払っている
(制限なし)
2. 本人の申告時間に基づき支払っている(制限なし)
3. 時間外労働の上限時間が決められている職員に対しては、上限を超えた分は支払っていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払っていない
5. 年俸制の職員の時間外労働手当は年俸に含めている
6. 時間外労働手当は支払っていない
7. 時間外労働はない
8. その他 ()

問 16. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の令和 2 年 6 月の勤務割（※ 8）における最長連続勤務時間（当直は含まない）とそのうちの休憩時間を教えてください。
（数字を入力）

※8：勤務割・・・シフト表上や勤務計画表上のこと

〈医師〉	最長			時間			分
	うち、休憩			時間			分
〈看護職〉	最長			時間			分
	うち、休憩			時間			分

〈看護師例〉最長拘束時間の例：勤務割上16時間



問 16-1. 問16で回答した最長連続勤務時間数について、令和元年6月と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響による増減はありましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

問 17. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の令和2年6月の勤務割における当日の勤務終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間を教えてください。（数字を入力）

〈医師〉 最短

--	--

 時間

--	--

 分

〈看護職〉 最短

--	--

 時間

--	--

 分

〈看護師例〉最短の例：連続夜勤 8時間



問 17-1. 問17で回答した時間数について、令和元年6月と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響による増減はありましたか。（該当するものにチェックをしてください）

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

問 18. フルタイム勤務正規職員の医師の令和2年6月の当直時の最長連続勤務時間（当直前後の勤務時間を含む）とそのうちの休憩時間を教えてください。（数字を入力）

〈医師〉 最長

--	--

 時間

--	--

 分

うち、休憩

--	--

 時間

--	--

 分

問 18-1. 問18で回答した当直時の最長連続勤務時間数について、令和元年6月と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響による増減はありましたか。（該当するものにチェックをしてください）

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

問 19. 職員の兼業を把握していますか。（該当するものにチェックをしてください）

1. 把握している
2. 把握していない
3. 兼業を禁止している

休日・休暇について伺います

問 20. 令和元年度の年間所定休日日数（※ 9）を教えてください。（数字を入力）

年 日

※9：就業規則に定める職員の所定の休日の合計（年次有給休暇や慶弔休暇は含めない）

問 21. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の、令和元年度の年次有給休暇取得率を教えてください。（数字を入力）

〈医師〉 . %

〈看護職〉 . %

※年次有給休暇取得率(%)＝有給休暇取得日数/各人の付与日数（昨年度からの繰り越し分は含めない）×100

短時間勤務の当直・夜勤について伺います

問 22. 正規職員である短時間勤務の医師も当直（宿直・日直）を行っていますか。

（該当するものにチェックをしてください）

1. 当直（宿直・日直）を行っている
2. 宿直は行っていないが、日直は行っている
3. 日直は行っていないが、宿直は行っている
4. 当直（宿直・日直）は行っていない
5. 正規職員である短時間勤務の医師はいない

問 23. 正規職員である短時間勤務の看護職も夜勤を行っていますか。（該当するものにチェックをしてください）

1. 行っている
2. 行っていない
3. 正規職員である短時間勤務の看護職はいない

医療従事者の勤務環境改善の取組について伺います

問 24. 医療従事者の勤務環境改善に関する現状認識として、当てはまるものを教えてください。

（該当するものにチェックをしてください）

- | | | | |
|---------------|---------|-----------------|-----------|
| 1. 重要な課題である | } ⇒問25へ | 3. あまり重要な課題ではない | } ⇒問25-1へ |
| 2. やや重要な課題である | | 4. 重要な課題ではない | |

問 25. 問 24 で 1 又は 2 と回答した病院にお尋ねします。問 24について、そのように認識する理由を教えてください。（該当するもの全てにチェックをしてください）

1. 質の高い医療の提供、質の向上のため
2. 人材の確保・定着のため
3. 職員の業務負担軽減のため
4. 職員の健康やメンタルヘルスの維持・向上のため
5. 職員のワークライフバランス確保のため
6. 当然の義務であるため
7. 医療体制の維持が困難なため
8. 法改正に伴う対応のため
9. 生産性の向上のため
10. その他（ ）

問 25-1. 問 24 で 3 又は 4 と回答した病院にお尋ねします。問 24について、そのように認識する理由を教えてください。（該当するもの全てにチェックをしてください）

1. 勤務環境が良好なため
2. 現状で問題がないため
3. やや問題はあるが、喫緊の課題ではないため
4. 既に対策に取り組んでいるため
5. その他（ ）

問 26. 医療従事者の勤務環境に関する取組状況について教えてください。（該当するものにチェックをしてください）

1. 職種を問わず取り組んでいる
→取組の継続年数を教えてください
1. 1年未満 2. 1年～3年未満 3. 3年～5年未満 4. 5年以上
2. 一部の職種で取り組んでいる（最も早く取り組んだ職種： ）
→最も早く取り組んだ職種の取組の継続年数を教えてください
1. 1年未満 2. 1年～3年未満 3. 3年～5年未満 4. 5年以上
3. あまり取り組んでいない }
4. 全く取り組んでいない } ⇒問 28

問 27. 問 26 で 1「職種を問わず取り組んでいる」又は 2「一部の職種で取り組んでいる」と回答した病院にお尋ねします。(3 又は 4 と回答した人は問 28 へ) 医療従事者の勤務環境改善の具体的な取組態様について教えてください。(各項目について該当するものにチェックをしてください)

(下記の①～⑦は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成 30 年 3 月)に記載している、マネジメントシステム導入の 7 つのステップに対応しています。)

	取り組んでおり、支援センターを活用している	取り組んでいるが、支援センターを活用していない	取り組んでいない
①勤務環境改善の取組方針を表明して職員に周知している	1	2	3
②経営トップが主体的に関与して組織的に取り組んでいる	1	2	3
③勤務環境改善のための推進体制(委員会・プロジェクトチーム、専門部署・専任担当者等)を設置している	1	2	3
④勤務環境の現状の把握・分析を行っている	1	2	3
⑤勤務環境改善に向けた達成目標を設定している	1	2	3
⑥勤務環境改善に向けた対策と行動計画(アクションプラン)を策定している	1	2	3
⑦取組の達成状況や成果を確認・評価し、目標や計画の見直し、取組方法の改善等につなげている	1	2	3
⑧その他()	1	2	3

本調査における支援センターとは、「医療勤務環境改善支援センター」のことです。

「医療勤務環境改善支援センター」は、平成 26 年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に設置されています。

問 27-1. 問 27 の項目 5 に取り組んでいる病院にお尋ねします。どのような目標を設定していますか。(該当するもの全てにチェックをしてください)

1. 時間外労働時間の削減
2. 業務の負担軽減・効率化
3. 休暇取得率の上昇
4. 離職率の低下
5. 職員満足度の向上
6. その他()

にお尋ねします。医療従事者の勤務環境改善にあまり又は全く取り組んでいない理由を教えてください。（該当するもの全てにチェックをしてください）

1. 人員や時間に余裕がないため
2. 費用がかかるため
3. どのように取り組めばよいのかわからないため
4. これから取組を始める段階であるため
5. 現在の勤務環境が整っており、取り組む必要がないため
6. 現状問題がないため
7. その他（ ）
8. 特に理由はない

問 29. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、貴院で取り組んでいるもの、そのうち効果が高いと評価できる取組を教えてください。（該当するもの全てにチェックをしてください）

（下記の選択肢は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き（改訂版）」（平成 30 年 3 月）に記載している、医療機関の勤務環境の現状把握及び課題抽出のための確認項目を参考に作成しています。）

I 働き方・休み方改善

取 組		い る 取 組 ん で	効 果 が 高 い
労働時間管理	1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる	1	2
	2. 1 回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる	1	2
	3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	1	2
	4. 夜勤負担の軽減（夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等）を行っている	1	2
	5. 夜勤専従者への配慮（夜勤の時間・回数の制限等）を行っている	1	2
	6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している	1	2
	7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている	1	2
	8. 勤務間インターバル制度(※10)を導入している	1	2
勤務負担軽減	9. 補助職（医師事務作業補助者、看護補助者等）を配置している	1	2
	10. 正職員について多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など）を活用している	1	2
	11. 当直（宿直・日直）明けの勤務者に対する配慮を行っている（連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等）	1	2

8. で「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。

⇒（ ）時間

9. で「取り組んでいる」と回答した方は、令和 2 年 6 月 30 日現在の補助職の人数を記入してく

ださい。⇒医師事務作業補助者（ ）人、看護補助者（ ）人

※10：前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

取 組		い る 取 組 ん で	効 果 が 高 い
勤務負担軽減	12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している	1	2
	13. チーム医療や多職種連携（業務分担・連携の強化等・タスクシフト）により負担軽減を図っている	1	2
	14. 電子カルテやデジタル端末等のICT、IOT技術を活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	1	2
	15. 募集・採用を強化するための取組を実施している	1	2
	16. 地域の医療機関との連携（オープンシステム、外来機能の分担等）を推進している	1	2

14. で「取り組んでいる」と回答した方は、導入したものの中で最も効果が高いと考えられる技術を教えてください。

1. 電子カルテ、オーダリングシステム、看護記録システム等の医療情報システムの導入・活用
2. Ipad等のデジタルデバイスの導入
3. バイタルサイン測定装置の導入
4. 音声入力システムの導入
5. 位置情報システムの導入
6. RFIDタグの導入
7. その他（ ）

Ⅱ 職員の健康支援

取 組		い る 取 組 ん で	効 果 が 高 い
職 員 の 健 康 支 援	17. 職員に健康診断を受診するよう働きかけている	1	2
	18. 健康診断の事後措置（医療上の措置、就業上の措置、保健指導等）を実施している	1	2
	19. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる	1	2
	20. 職員のメンタルヘルス教育研修を実施している	1	2
	21. 「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルス対策の取組を行っている	1	2
	22. 長時間労働者に対する面接指導を実施している	1	2
	23. 職業感染（結核・インフルエンザ等呼吸器感染、HBV/HCV/HIVの針刺し切創対策、ワクチン等）に取り組んでいる	1	2
	24. 有害化学物質（抗がん剤、エチレンオキシド、キシレン、ホルムアルデヒドの取扱い等）のばく露予防に取り組んでいる	1	2
	25. 作業管理・作業環境対策（腰痛対策や眼精疲労対策等）に取り組んでいる	1	2
	26. 産業医を選任し、職員に周知している	1	2

Ⅲ 働きやすさ確保のための環境整備

取 組		取 り 組 ん で い る	効 果 が 高 い
仕事と子育て・介護等の両立支援	27. 男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている	1	2
	28. 法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している	1	2
	29. 院内保育所や提携保育所等を整備している	1	2
	30. 保育サービス（病児保育や夜間預かり保育等）を実施している	1	2
	31. 院内や近隣に学童保育を整備している	1	2
	32. 学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている	1	2
	33. 本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している	1	2
	34. 介護短時間勤務制度を導入している	1	2
	35. 法定以上の介護休業制度、介護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している	1	2
	36. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している	1	2
	37. 子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備している	1	2
	38. 保育・介護サービス利用料の補助制度（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している	1	2
	39. 子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている	1	2
40. 子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている	1	2	
41. その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している	1	2	

27. で「取り組んでいる」と回答した方は、令和元 年度に育児休業を取得した男性職員は何人が
教えてください。（数字を入力）

()人

37. で「取り組んでいる」と回答した方は整備している制度を教えてください。

(該当するものすべてにチェックをしてください)

1. 短時間勤務 2. 短日勤務 3. 交代制勤務 4. フレックスタイム制
5. その他（ ）

41. で「取り組んでいる」と回答した方は、具体的にどのような制度・取組が教えてください。

⇒ (具体的に :

取 組		取 組 んで い る	効 果 が 高 い
対職員の ハラスメント 対策 の めい じ め 等・	42. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している	1	2
	43. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている	1	2
風土・ 環境 整備	44. 職員の働く満足度の調査を行っている	1	2
	45. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している	1	2
	46. 院内での職員のコミュニケーションの機会を設定・拡充している（職員旅行、イベント等）	1	2
	47. 職員の地域活動への支援（ボランティア活動支援等）を実施している	1	2
人材の 定着 化	48. 定期的に職員の希望を把握し、配置や業務面の配慮をしている	1	2
	49. 複数主治医制を採用している	1	2

Ⅳ 働きがいの向上

取 組		取 組 んで い る	効 果 が 高 い
キ ャ リ ア 形 成 支 援	50. 施設外の研修への参加を支援している	1	2
	51. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている	1	2
	52. すべての職員のキャリア形成支援のために、研修や子育てとの両立支援等に関する相談窓口の設置、情報提供等が実施されている	1	2
	53. 法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から実施されている	1	2
	54. 専門資格の取得を支援する制度を設けている	1	2
休 業 後 の キ ャ リ ア 形 成 支 援	55. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援（業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等）を行っている	1	2
	56. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	1	2
	57. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）を行っている	1	2

V. その他

取 組		で 取 組 み を 行 っ て い る	効 果 が 高 い
そ の 他	58. 患者満足度の調査を行っている	1	2
	59. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した制度を設けている	1	2
	60. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	1	2
	61. 医師、看護師に対し、賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている	1	2
	62. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている	1	2
	63. その他()	1	2

上記に該当するものがなければ、問 31 に進んでください。

問 30. 問29 で 1 つでも「効果が高い」と回答した病院にお尋ねします。問29で回答した勤務環境改善の取組の効果として、どのような経営上のメリットを感じていますか。

(該当するものすべてにチェックをしてください)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 離職率が低下した | 7. 患者の満足度が向上した/患者の声が届きやすい環境になった |
| 2. 人材が確保しやすくなった | 8. 診療報酬の加算の算定ができるようになった |
| 3. 職員の時間外労働が減少した | 9. 経営指標が改善した |
| 4. 職員の満足度が向上した | (具体的に：) |
| 5. 職員の休暇取得率が増加した | 10. その他 |
| 6. アクシデントが減少した/
医療安全が改善・向上した | () |
| | 11. 経営上のメリットは感じていない |

問 31. 新型コロナウイルス感染症への対応による業務の見直しや改善策のうち、医療従事者の勤務環境改善に資すると考えられる取組があれば教えてください。(該当するもの全てにチェックをしてください)

- シフト制の導入または拡充
- 電子カルテやデジタル端末等のICT、IOT技術を活用した業務効率化・省力化
- リモートワークの導入
- 賃金引上げ又は待遇の改善
- 特になし
- その他(自由記入)

「いきサポ」について伺います

問 32. あなたは、「いきサポ」（※11）をご存じでしたか。（該当するものにチェックをしてください）

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 知っており、閲覧したことがある | ⇒ 問 32 -1 へ |
| 2. 知っているが、閲覧したことはない | ⇒ 問 32 -4 へ |
| 3. この調査票で知った（今まで知らなかった） | ⇒ 問 33へ |

※11：「いきサポ」とは、医療機関の管理者などを対象に、国や都道府県などによる施策や事業などの紹介、医療機関の取組事例の紹介など、医療従事者の勤務環境の改善に役立つ情報を提供するサイト「いきいき働く医療機関サポートWeb」（いきサポ）のことです。

問 32-1. 「いきサポ」をご覧になったご感想をお聞かせください。（該当するものにチェックをしてください）

- | | | |
|-------------|----------------|--------------|
| 1. 非常に参考になる | 3. あまり参考にならない | } ⇒ 問 32-3 へ |
| 2. 参考になる | 4. まったく参考にならない | |

問 32-2. 「いきサポ」で参考になるページ・情報を教えてください。（該当するものすべてにチェックをしてください）

1. 「検索ワードランキング」
2. 「『参考にされた』取組事例・提案」
3. 「取組事例・提案の紹介」
4. 「資料のダウンロード」
5. 「FAQ ～よくある問合せ～」
6. 「役に立つ情報」の「国の施策情報」
7. 「役に立つ情報」の「各種通知・審議会等」
8. 「役に立つ情報」の「関係団体による取組」
9. 「役に立つ情報」の「イベント開催案内および開催報告について」
10. 「役に立つ情報」の「各都道府県における取組」
11. 「役に立つ情報」の「各都道府県の医療勤務環境改善支援センター」
12. その他

問 32-3. 「いきサポ」で充実してほしい情報があれば教えてください。（特に無ければ未記入で次の設問に進んでください。）

問 32-4. あなたは、「いきサポ」を何で知りましたか。（該当するもの全てにチェックをしてください）

1. 都道府県庁又は医療勤務環境改善支援センターの紹介
2. 都道府県労働局からの紹介
3. 厚生労働省のホームページを見て
4. 医療関係の新聞・雑誌、ウェブサイト、メールマガジンなどを見て
5. 同僚・知人などからの口コミ
6. その他（ ）

問 33. 「いきサポ」では、医療機関の勤務環境改善の取組を掲載することにより、勤務環境改善に取り組んでいることを広報することができます。貴院の取組で勤務環境改善の効果が高いものを「いきサポ」でご紹介してもよろしいでしょうか。（該当するものにチェックをしてください）

1. 紹介してもよい
2. 紹介することを検討したい
3. 紹介したくない

問 34. 問33. にて1又は2を選択された場合は、ご連絡先を教えてください。本事業受託者（有限責任監査法人トーマツ）担当者より、ご連絡させていただきます。なお、いただいた個人情報については、当事業に関するご連絡以外には使用いたしません。

医療機関名	
ご役職	
お名前	
お電話番号	
メールアドレス	

医療勤務環境改善支援センターについて伺います

問 35. あなたは、「医療勤務環境改善支援センター」(※12)について、ご存じですか。
(該当するものにチェックをしてください)

1. すでに利用したことがある
2. 利用したことはないが、活動内容を知っている
3. 利用したことはなく、活動内容も知らないが、名前は聞いたことがある
4. 知らない

※12：「医療勤務環境改善支援センター」は、平成26年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に設置されています。

問 36. 今後の「医療勤務環境改善支援センター」の利用についての意向を教えてください。
(該当するものにチェックをしてください)

1. 利用したい
2. 利用することを検討したい
3. 今のところ利用は考えていない

問 37. 問36 について、そう考える理由を教えてください。

選択した 場合 1・2を	1. 働き方改革を推進するため 2. 働き方改革に係る専門的なアドバイスを受けられるため	3. 働き方に係る情報を入手するため 4. その他 ()
3を 選択した 場合	1. 勤務環境が良好なため 2. 現状問題がないため	3. 利用によって得られる効果が不明なため 4. 利用する余裕や体制がないため

問 38. 女性活躍や子育てサポート等に関する認定や表彰を受けたり、宣言を行ったりしていますか。もしくは認定・表彰・宣言等に向けて取り組んでいますか。(各項目について該当するものにチェックをしてください)

	認定・表彰・宣言等を受けている、行っている	認定・表彰・宣言等に向けて取り組んでいる	認定・表彰・宣言等に向けた取組は行っていない
1. くるみん認定 (※13)	1	2	3
2. えるぼし認定 (※14)	1	2	3
3. イクボス宣言 (※15)	1	2	3

※13: 「くるみん」とは、行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業を、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣が認定する制度。くるみん認定企業のうち、より高い水準の取組を行った企業が一定の要件を満たした場合、優良な「子育てサポート企業」として特例認定（プラチナくるみん認定）を受けることができる。

※14: 「えるぼし」とは、行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍推進に関する取組の実施状況等が優良な企業を厚生労働大臣が認定する制度。

※15: 「イクボス」とは、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス（仕事と生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）のことを指す。

【認定マーク】



問 38-1. そのほかに、国や自治体等の公的機関からワークライフバランスに関する認定や表彰を受けたことがあれば、いつごろ、どのような認定や表彰を受けたかを教えてください。（該当するもの全てにチェックをしてください）

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. ワークライフバランス大賞 | 5. 子育て応援宣言 |
| 2. カンゴサウルス賞 | 6. 男女共同参画指針事業者 |
| 3. ファミリーフレンドリー企業 | 7. 特に無し |
| 4. 多様な働き方実践企業 | 8. その他（ ） |

問 39. 平成31年4月から一定の条件を満たせば医師・医療従事者の勤務時間短縮に資する一定の設備について、特別償却をすることができます。この取組をご存じでしたか。（該当するものにチェックをしてください）

1. 知っており利用した
2. 知っており、利用を検討している
3. 知っているが、利用は検討していない
4. はじめて聞いた

問 40. 医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、本アンケート調査の病院ごとの回答内容を医療勤務環境改善支援センターへ提供する予定となっていますが、提供不可の場合は右の□にチェックをつけてください。なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。



有床診療所の勤務環境に関するアンケート調査

厚生労働省委託事業 「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく
医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博（公益財団法人大原記念労働科学研究所）

拝啓 清涼の候、貴院におかれましては未曾有の災禍の中、ご苦労はいかほどかと拝察致します。

世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、最前線で治療にご尽力されている医療従事者の皆様に、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。日本が他国のような感染拡大に至っていない状況は、感染の危険に身を投じながらも懸命に医療に従事されている皆様のご尽力の賜物と思慮致します。

このような状況下で大変恐縮でございますが、勤務環境改善に関するアンケートにご協力をお願い申し上げます。医療従事者の皆様の勤務環境改善は、安全で質の高い医療の提供や、病院経営の安定化等にも資するものと考えております。

平成 26 年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業における当委員会では、病院を対象に勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施しています。医療機関の勤務環境等に関して状況を把握し、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、平成 29 年度からすべての有床診療所も対象にアンケート調査を実施しています。本アンケート調査は、今後の医療勤務環境改善の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。また、本調査の結果を各都道府県の医療勤務環境改善支援センターでより具体的に活用できるようにする等の目的から、識別番号で診療所を把握させていただきます。なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

本年度からアンケート調査は WEB で実施します。昨年度回答がある場合は、回答欄に昨年の回答を表記していますので、変更がある場合に訂正をお願いいたします。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を問う項目を追加で設けています。貴院の状況を踏まえてご回答をお願い申し上げます。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

敬具

《記入にあたってのお願い》

1. 院長または貴診療所の勤務環境改善の取組状況等について把握している事務部門の担当者の方が記入してください。
2. アンケートの回答は 12 月 10 日（木）までにご回答ください。

■回答方法

- (1) 途中で WEB ブラウザの「戻る」や「更新」ボタンは押さないようにご注意ください。
- (2) 回答開始から 1 時間以内にお答えください。
※1 時間以上離席される場合、必ず画面上部・下部の「一時保存し終了する」を押してください。
- (3) 回答を再開する場合は、本アンケートのログイン画面にアクセスし、再度パスワード（依頼状に記載）を入力してください。途中保存したページから再開することができます。

■本調査に関する問合せ先

勤務環境アンケート調査事務局

- ・問い合わせ番号：0120-991-730
- ・メールアドレス：support@tohmatu-kinmukankyou-chosa.jp
- ・開局期間：11 月 10 日（火）～12 月 10 日（木）
- ・開局時間：月曜日～金曜日 10 時～17 時（土日祝休み）

※稼働病床が0床の場合、回答いただく必要はありません。
※入院を伴わないベッド利用は稼働病床に含みません。

問 1. 開設主体を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 国等(厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
2. 地方公共団体等(都道府県、市町村、地方独立行政法人)
3. 公的医療機関(日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
4. 社会保険関係団体(健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
5. 医療法人
6. 個人
7. その他(公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

問 2. 医療機能を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

医療機能は、病床機能報告の考えと同様です。

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能

急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能

回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等

慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

問 3. 貴院では、新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行っていますか。(令和2年6月時点。帰国者・接触者相談センターから紹介のあった疑い例の患者を含む) (該当するものにチェックをしてください)

1. 受け入れている
2. 受け入れていない

問 4. 稼働病床数と1日平均入院患者数(小数点第1位まで)を教えてください。
(数字を入力)

〈令和元年度〉

稼働病床数

床

1日平均入院患者数

. 人

〈令和2年6月〉

稼働病床数

床

1日平均入院患者数

. 人

・稼働病床数＝患者を入院させるために準備していた病床数－当該期間に1度も入院患者を収容しなかった病床数

・1日平均入院患者数＝入院患者延数/当該期間日数

問 4-1. 問 4の稼働病床数等の変化について、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたか。（該当するものにチェックをしてください）

1. 新型コロナウイルス感染症の影響があると考えられる
2. 新型コロナウイルス感染症の影響はほとんどないと考えられる

問 5. 標榜している診療科目を教えてください。（該当するものすべてにチェックをしてください）

- | | | | | |
|----------------|------------|-----------------|-------------|----------------|
| 1. 内科 | 9. 皮膚科 | 17. 呼吸器外科 | 25. 整形外科 | 33. 婦人科 |
| 2. 呼吸器内科 | 10. アレルギー科 | 18. 心臓血管外科 | 26. 形成外科 | 34. リハビリテーション科 |
| 3. 循環器内科 | 11. リウマチ科 | 19. 乳腺外科 | 27. 美容外科 | 35. 放射線科 |
| 4. 消化器内科（胃腸内科） | 12. 感染症内科 | 20. 気管食道外科 | 28. 眼科 | 36. 麻酔科 |
| 5. 腎臓内科 | 13. 小児科 | 21. 消化器外科（胃腸外科） | 29. 耳鼻いんこう科 | 37. 病理診断科 |
| 6. 神経内科 | 14. 精神科 | 22. 泌尿器科 | 30. 小児外科 | 38. 臨床検査科 |
| 7. 糖尿病内科（代謝内科） | 15. 心療内科 | 23. 肛門外科 | 31. 産婦人科 | 39. 救急科 |
| 8. 血液内科 | 16. 外科 | 24. 脳神経外科 | 32. 産科 | 40. その他 |

問 6. 令和2年6月30日現時点の職員について伺います。

※以下の質問におけるフルタイム勤務正規職員に院長は含まれません。

副院長など肩書きがある場合でも管理職ではない場合は、フルタイム勤務正規職員に含みます。

該当者が院長のみの場合は、医師の回答欄は空白のままです。

①職員数（正規職員・非正規職員を含む（常勤換算ではありません））

② ①のうち、フルタイム勤務の正規職員数（※1）

③ ①のうち、短時間勤務の正規職員数（※2）

を教えてください。（産休・育休・休職など稼働していない職員は除く）（数字を入力）

	①職員数（正規職員・非正規職員を含む）	② ①のうち、フルタイム勤務の正規職員数	③ ①のうち、短時間勤務の正規職員数
全体	() 人	() 人	() 人
うち、医師数	() 人	() 人	() 人
うち、看護職（※3）数	() 人	() 人	() 人

※1：フルタイム勤務とは、就業規則等で定められた週所定労働時間数（変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数）での勤務をいう（育児等による短時間勤務は除く）。

また、正規職員とは、雇用期間の定めがないものをいう（パート労働者等は除く）。

※2：短時間勤務とは、フルタイム勤務と比較して、短い週所定労働時間での勤務をいう。

※3：本調査での看護職とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指し、看護助手は含みません。

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

()人

離職率			.		%
-----	--	--	---	--	---

- 5 -

1. 本人が自分で申告（申告後に上長承認が必要なものを含む）
2. 上司からの命令（事前または事後）で申告
3. タイムカード・タイムレコーダーによって自動的に申告
4. 時間外労働がない
5. その他（

〈令和元年度〉 医師 月平均 時間 分

看護職 月平均 時間 分

〈令和2年6月〉 医師 月平均 時間 分

看護職 月平均 時間 分

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

1. タイムレコーダー・タイムカード・ICカード・電子カルテ等のログに基づき支払っている（制限なし）
2. 本人の申告時間に基づき支払っている（制限なし）
3. 時間外労働の上限時間が決められている職員に対しては、上限を超えた分は支払っていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払っていない
5. 年俸制の職員の時間外労働手当は年俸に含めている
6. 時間外労働手当は支払っていない
7. 時間外労働はない
8. その他（ ）

問 14. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の令和2年6月の勤務割(※6)における最長連続勤務時間(当直は含まない)とそのうちの休憩時間を教えてください。
(数字を入力)

※6: 勤務割・・・シフト表上や勤務計画表上のこと

〈医師〉 最長

 時間

 分
うち、休憩

 時間

 分

〈看護職〉 最長

 時間

 分
うち、休憩

 時間

 分

〈看護師例〉最長拘束時間の例: 勤務割上16時間



問 14-1. 問14で回答した最長連続勤務時間数について、令和元年6月と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響による増減はありましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

問 15. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の令和2年6月の勤務割における当日の勤務終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間を教えてください。(数字を入力)

〈医師〉 最短

 時間

 分

〈看護職〉 最短

 時間

 分

〈看護師例〉最短の例: 連続夜勤 8時間



問 15-1. 問15で回答した時間数について、令和元年6月と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響による増減はありましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

問 16. フルタイム勤務正規職員の医師の令和2年6月の当直時の最長連続勤務時間（当直前後の勤務時間を含む）とそのうちの休憩時間を教えてください。（数字を入力）

〈医師〉	最長			時間			分
	うち、休憩			時間			分

問 16-1. 問16で回答した当直時の最長連続勤務時間数について、令和元年6月と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響による増減はありましたか。（該当するものにチェックをしてください）

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

問 17. 職員の兼業を把握していますか。（該当するものにチェックをしてください）

1. 把握している
2. 把握していない
3. 兼業を禁止している

休日・休暇について伺います

※院長は含みません。フルタイム勤務の医師が院長のみである場合は、医師の解答欄は空白のまま結構です。

問 18. 令和元年度の年間所定休日日数（※7）を教えてください。（数字を入力）

年 日

※7：就業規則に定める職員の所定の休日の合計（年次有給休暇や慶弔休暇は含めない）

問 19. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の、令和元年度の年次有給休暇取得率を教えてください。（数字を入力）

〈医師〉		.		%
〈看護職〉		.		%

※年次有給休暇取得率(%) = 有給休暇取得日数/各人の付与日数（昨年度からの繰り越し分は含めない）×100

短時間勤務の当直・夜勤について伺います

問 20. 正規職員である短時間勤務の医師も当直（宿直・日直）を行っていますか。（該当するものにチェックをしてください）

1. 当直（宿直・日直）を行っている
2. 宿直は行っていないが、日直は行っている
3. 日直は行っていないが、宿直は行っている
4. 当直（宿直・日直）は行っていない
5. 正規職員である短時間勤務の医師はいない

問 21. 正規職員である短時間勤務の看護職も夜勤を行っていますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 行っている
2. 行っていない
3. 正規職員である短時間勤務の看護職はいない

医療従事者の勤務環境改善の取組について伺います

問 22. 医療従事者の勤務環境改善に関する現状認識として、当てはまるものを教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 重要な課題である } ⇒問 22-1 へ
2. やや重要な課題である }
3. あまり重要な課題ではない } ⇒問 22-2 へ
4. 重要な課題ではない }

問 22-1. 問 22 で 1 又は 2 と回答した診療所にお尋ねします。問 22 について、そのように認識する理由を教えてください。(該当するものすべてにチェックをしてください)

1. 質の高い医療の提供、質の向上のため
2. 人材の確保・定着のため
3. 職員の業務負担軽減のため
4. 職員の健康やメンタルヘルスの維持・向上のため
5. 職員のワークライフバランス確保のため
6. 当然の義務であるため
7. 医療体制の維持が困難なため
8. 法改正に伴う対応のため
9. 生産性の向上のため
10. その他（ ）

問 22-2. 問 22 で 3 又は 4 と回答した診療所にお尋ねします。問 22 について、そのように認識する理由を教えてください。(該当するものすべてにチェックをしてください)

1. 勤務環境が良好なため
2. 現状で問題がないため
3. やや問題はあるが、喫緊の課題ではないため
4. 既に対策に取り組んでいるため
5. その他 ()

問 23. 医療従事者の勤務環境改善に関する取組状況について教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 職種を問わず取り組んでいる

→取組の継続年数を教えてください

1. 1 年未満
2. 1 年～3 年未満
3. 3 年～5 年未満
4. 5 年以上

2. 一部の職種で取り組んでいる (最も早く取り組んだ職種 :)

→取組の継続年数を教えてください

1. 1 年未満
2. 1 年～3 年未満
3. 3 年～5 年未満
4. 5 年以上

3. あまり取り組んでいない
 4. 全く取り組んでいない
- } ⇒問 25

問 24. 問 23 で 1「職種を問わず取り組んでいる」又は 2「一部の職種で取り組んでいる」と回答した病院にお尋ねします。(3 又は 4 と回答した人は問 25 へ) 医療従事者の勤務環境改善の具体的な取組態様について教えてください。(各項目について該当するものにチェックをしてください)

(下記の①～④は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成30年3月)に記載している、マネジメントシステム導入のステップに対応しています。)

	取り組んでおり、支援センターを活用している	取り組んでいるが、支援センターを活用していない	取り組んでいない
①勤務環境改善の取組方針を表明して職員に周知している	1	2	3
②経営トップが主体的に関与して組織的に取り組んでいる	1	2	3
③勤務環境の現状の把握・分析を行っている	1	2	3
④勤務環境改善に向けた達成目標を設定している	1	2	3

本調査における支援センターとは、「医療勤務環境改善支援センター」のことです。

「医療勤務環境改善支援センター」は、平成26年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に設置されています。

問 24-1. 問 24 の項目 4に取り組んでいる病院にお尋ねします。どのような目標を設定していますか。(該当するものすべてにチェックをしてください)

1. 時間外労働時間の削減
2. 業務の負担軽減・効率化
3. 休暇取得率の上昇
4. 離職率の低下
5. 職員満足度の向上
6. その他 ()

問 25. 問 23 で3「あまり取り組んでいない」又は4「全く取り組んでいない」と回答した病院にお尋ねします。医療従事者の勤務環境改善にあまり又は全く取り組んでいない理由を教えてください。（該当するものすべてにチェックをしてください）

1. 人員や時間に余裕がないため
2. 費用がかかるため
3. どのように取り組めばよいのかわからないため
4. これから取組を始める段階であるため
5. 現在の勤務環境が整っており、取り組む必要がないため
6. 現状問題がないため
7. その他（ ）

問 26. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、取り組んでいるもの、そのうち効果が高いと評価できる取組を教えてください。（該当するものすべてにチェックをしてください）

（下記の選択肢は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き（改訂版）」（平成 30 年 3 月）に記載している、医療機関の勤務環境の現状把握及び課題抽出のための確認項目を参考に作成しています。）

取 組	い る 取 組 ん で	効 果 が 高 い
1. 正職員について多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など）を活用している	1	2
2. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	1	2
3. 勤務間インターバル制度(※8)を導入している	1	2
4. 電子カルテやデジタル端末等のICT、IOT技術を活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	1	2
5. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している	1	2

3. で「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。

⇒（ ）時間

※8：前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

4. で「取り組んでいる」と回答した方は、導入したもののなかで最も効果が高いと考えられる技術を教えてください。

1. 電子カルテ、オーダリングシステム、看護記録システム等の医療情報システムの導入・活用
2. Ipad 等のデジタルデバイスの導入
3. バイタルサイン測定装置の導入
4. 音声入力システムの導入
5. 位置情報システムの導入
6. RFID タグの導入
7. その他（ ）

取 組	取 組 ん で い る	効 果 が 高 い
17. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	1	2
18. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	1	2
19. 医師、看護師に対し、賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている	1	2
20. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている	1	2

問 27-1. 貴診療所における人材について、人材の確保が課題となっている職種を教えてください。

(当てはまるもの全てにチェックをしてください)

1. 看護職員
2. 医事課職員
3. 介護士
4. 医師
5. リハビリテーション職
6. 調理師
7. 臨床検査技師
8. 介護福祉士
9. 栄養士
10. 薬剤師
11. 清掃員
12. 保育士
13. 歯科衛生士
14. 夜勤のできる職員
15. その他 ()

問 28. 新型コロナウイルス感染症への対応による業務の見直しや改善策のうち、医療従事者の勤務環境改善に資すると考えられる取組があれば教えてください。(該当するもの全てにチェックをしてください)

1. シフト制の導入または拡充
2. 電子カルテやデジタル端末等の ICT、IOT 技術を活用した業務効率化・省力化
3. リモートワークの導入
4. 賃金引上げ又は待遇の改善
5. 特にない
6. その他 (自由記入)

「いきサポ」について伺います

問 29. あなたは、「いきサポ」(※9)をご存じでしたか。(該当するものにチェックをしてください)

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1. 知っており、閲覧したことがある | ⇒問 29-1 へ |
| 2. 知っているが、閲覧したことはない | ⇒問 29-4 へ |
| 3. この調査票で知った(今まで知らなかった) | ⇒問 30 へ |

※9:「いきサポ」とは、医療機関の管理者などを対象に、国や都道府県などによる施策や事業などの紹介、医療機関の取組事例の紹介など、医療従事者の勤務環境の改善に役立つ情報を提供するサイト「いきいき働く医療機関サポートWeb」(いきサポ) のことです。

問 29-1. 「いきサポ」をご覧になったご感想をお聞かせください。(該当するものにチェックをしてください)

- | | | |
|-------------|----------------|-------------|
| 1. 非常に参考になる | 3. あまり参考にならない | } ⇒問 29-3 へ |
| 2. 参考になる | 4. まったく参考にならない | |

問 29-2. 「いきサポ」で参考になるページ・情報を教えてください。

(該当するものすべてにチェックをしてください)

1. 「検索ワードランキング」
2. 「『参考にされた』取組事例・提案」
3. 「取組事例・提案の紹介」
4. 「資料のダウンロード」
5. 「FAQ ～よくある問合せ～」
6. 「役に立つ情報」の「国の施策情報」
7. 「役に立つ情報」の「各種通知・審議会等」
8. 「役に立つ情報」の「関係団体による取組」
9. 「役に立つ情報」の「イベント開催案内および開催報告について」
10. 「役に立つ情報」の「各都道府県における取組」
11. 「役に立つ情報」の「各都道府県の医療勤務環境改善支援センター」
12. その他

問 29-3. 「いきサポ」で充実してほしい情報があれば教えてください。(特に無ければ未記入で次の設問に進んでください。)

問 29-4. あなたは、「いきサポ」を何で知りましたか。(該当するものすべてにチェックをしてください)

1. 都道府県庁又は医療勤務環境改善支援センターの紹介
2. 都道府県労働局からの紹介
3. 厚生労働省のホームページを見て
4. 医療関係の新聞・雑誌、ウェブサイト、メールマガジンなどを見て
5. 同僚・知人などからの口コミ
6. その他 ()

問 30. 「いきサポ」では、医療機関の勤務環境改善の取組を掲載することにより、勤務環境改善に取り組んでいることを広報することができます。貴診療所の取組で勤務環境改善の効果が高いものを「いきサポ」でご紹介してもよろしいでしょうか。(該当するものにチェックをしてください)

- | |
|-----------------|
| 1. 紹介してもよい |
| 2. 紹介することを検討したい |
| 3. 紹介したくない |

問 31. 問 30 にて 1 又は 2 を選択された場合は、ご連絡先を教えてください。本事業受託者（有限責任監査法人トーマツ）担当者より、ご連絡させていただきます。なお、いただいた個人情報については、当事業に関するご連絡以外には使用いたしません。

医療機関名	
ご役職	
お名前	
お電話番号	
メールアドレス	

医療勤務環境改善支援センターについて伺います

問 32. あなたは、「医療勤務環境改善支援センター」(※10)を、ご存じですか。(該当するものにチェックをしてください)

1. すでに利用したことがある
2. 利用したことはないが、活動内容を知っている
3. 利用したことはなく、活動内容も知らないが、名前は聞いたことがある
4. 知らない

※10：「医療勤務環境改善支援センター」は、平成26年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に設置されています。

問 33. 今後の「医療勤務環境改善支援センター」の利用についての意向を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 利用したい
2. 利用することを検討したい
3. 今のところ利用は考えていない

問 34. 問 33 について、そう考える理由を教えてください。

選択した場合 1・2を	1. 働き方改革を推進するため 2. 働き方改革に係る専門的なアドバイスを受けられるため 3. 働き方に係る情報を入手するため 4. その他（ ）
3を選択した場合	1. 勤務環境が良好なため 2. 現状問題がないため 3. 利用によって得られる効果が不明なため 4. 利用する余裕や体制がないため

問 35. 平成31年4月から一定の条件を満たせば医師・医療従事者の勤務時間短縮に資する一定の設備について、特別償却をすることができます。この取組をご存じでしたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 知っており利用した
2. 知っており、利用を検討している
3. 知っているが、利用は検討していない
4. はじめて聞いた

問 36. 医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、本アンケート調査の病院ごとの回答内容を医療勤務環境改善支援センターへ提供する予定となっていますが、提供不可の場合は右の□にチェックをつけてください。なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

医師の皆様へ

医師の勤務環境に関するアンケート調査へのご協力をお願い

厚生労働省委託事業 「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく
医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博（公益財団法人大原記念労働科学研究所）

拝啓 清涼の候、皆様におかれましては未曾有の災禍の中、ご苦勞はいかほどかと拝察致します。

世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、最前線で治療にご尽力されている医療従事者の皆様に、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。日本が他国のような感染拡大に至っていない状況は、感染の危険に身を投じながらも懸命に医療に従事されている皆様のご尽力の賜物と思慮致します。このような状況下で大変恐縮でございますが、以下の記載事項をご確認いただき、勤務環境改善に関するアンケートにご協力をお願い申し上げます。

1. アンケート調査の目的とお願い

平成26年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業による当委員会では、平成27年度から病院の勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施し、医師の勤務環境の現状を公表するとともに、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の提言を行っています。

今年度も、医療従事者の「働き方・休み方」の現状や勤務環境改善の取組への評価等について継続的に把握するためアンケート調査を実施することとしました。本アンケート調査は、今後の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。回答内容については、統計処理の上、公表や都道府県等への情報提供を予定しています。アンケート調査は無記名であり、回答者の特定や、回答者ごとの回答が個別に明らかにされることは一切ありません。

なお、今年度は新型コロナウイルスの影響を問う項目を追加で設けています。勤務状況を踏まえてご回答をお願い申し上げます。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、令和2年12月10日（木）までに、「2. 回答方法」に従って回答いただきたく、ご協力のほど何とぞよろしくお願いいたします。

2. 回答方法

(1) 途中でWEBブラウザの「戻る」や「更新」ボタンは押さないようにご注意ください。

(2) 回答開始から1時間以内にお答えください。

※1時間以上離席される場合、必ず画面上部・下部の「一時保存し終了する」を押してください。

また、「途中再開用のユーザー名」を設定してください。

(3) 回答を再開する場合は、本アンケートのログイン画面にアクセスし、「途中再開用のユーザー名」を入力してください。途中保存したページから再開することができます。

3. アンケートの回答期限： **令和2年12月10日（木）**まで

4. 本件に関する問い合わせ先

勤務環境アンケート調査事務局

- ・問い合わせ番号：0120-991-730
- ・メールアドレス：support@tohatsu-kinmukankyou-chosa.jp
- ・開局期間：11月10日（火）～12月10日（木）
- ・開局時間：月曜日～金曜日 10時～17時（土日祝休み）

問1. あなたの年齢を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上

問2. あなたの性別を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 女性 2. 男性 3. その他・答えたくない

問3. あなた自身の主な勤務形態を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 3交代制(変則含む)※
2. 2交代制(変則含む)※
3. 夜勤専従
4. 夜勤シフトに入っていない
5. 日勤のみ
6. それ以外
7. わからない

※：交代制勤務には24時間を2つのシフトに分ける「2交代制」や「3交代制」がある。各シフトの長さがほぼ均一なタイプのほか、変則的なタイプ(夜勤時間9～10時間の変則3交代制、夜勤時間13～16時間の変則2交代制など)がある

問4. あなたの現職種におけるキャリア(通算経験年数)を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。(該当するものにチェックをしてください)

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 1年未満 | 3. 3年未満 | 5. 10年未満 | 7. 20年以上 |
| 2. 2年未満 | 4. 5年未満 | 6. 20年未満 | |

問5. 現医療機関における、あなたの勤務年数を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数は含めずに回答してください。(数字を入力)

() 年

問6. あなたが主に専門としている診療科（最も時間を費やしている診療科）を教えてください。（該当するものにチェックをしてください）

- | | | | | |
|----------------|------------|-----------------|----------------|-----------|
| 1. 内科 | 10. アレルギー科 | 19. 乳腺外科 | 28. 眼科 | 37. 病理診断科 |
| 2. 呼吸器内科 | 11. リウマチ科 | 20. 気管食道外科 | 29. 耳鼻いんこう科 | 38. 臨床検査科 |
| 3. 循環器内科 | 12. 感染症内科 | 21. 消化器外科（胃腸外科） | 30. 小児外科 | 39. 救急科 |
| 4. 消化器内科（胃腸内科） | 13. 小児科 | 22. 泌尿器科 | 31. 産婦人科 | 40. 臨床研修医 |
| 5. 腎臓内科 | 14. 精神科 | 23. 肛門外科 | 32. 産科 | 41. 全科 |
| 6. 神経内科 | 15. 心療内科 | 24. 脳神経外科 | 33. 婦人科 | 42. その他 |
| 7. 糖尿病内科（代謝内科） | 16. 外科 | 25. 整形外科 | 34. リハビリテーション科 | |
| 8. 血液内科 | 17. 呼吸器外科 | 26. 形成外科 | 35. 放射線科 | |
| 9. 皮膚科 | 18. 心臓血管外科 | 27. 美容外科 | 36. 麻酔科 | |

問7. ご勤務先の開設主体を教えてください。（該当するものにチェックをしてください）

1. 国等（厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関)）
2. 地方公共団体等（都道府県、市町村、地方独立行政法人）
3. 公的医療機関（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）
4. 社会保険関係団体（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）
5. 医療法人
6. 個人
7. その他（公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人）

問8. あなたが主に勤務する病床機能を教えて下さい。（該当するものにチェックをしてください）

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| 1. 高度急性期 | 2. 急性期 | 3. 回復期 | 4. 慢性期 |
|----------|--------|--------|--------|

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能

急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能

回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等

慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

<新型コロナウイルス感染症への対応状況について伺います>

問 9. ご勤務先では、新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行っていますか。(令和2年6月時点。帰国者・接触者相談センターから紹介のあった疑い例の患者を含む) (該当するものにチェックをしてください)

1. 受け入れている
2. 受け入れていない

問 10. あなたは、新型コロナウイルス感染症患者の対応を行っていますか。(令和2年6月時点。帰国者・接触者相談センターから紹介のあった疑い例の患者を含む) (該当するものにチェックをしてください)

1. 行っている
2. 行っていない

<労働時間について伺います>

問 11. あなたはご勤務先の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じですか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 知っている
2. 知らない

問 12. あなたの職場の労働時間の把握方法を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. タイムレコーダー・タイムカード
2. ICカード
3. 電子カルテなどのログ
4. 出勤簿・管理簿
5. 自己申告
6. その他 ()
7. 労働時間を管理していない

問 13. あなたの令和2年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数(所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く)を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 45 時間以下
2. 45 時間超～80 時間以下
3. 80 時間超～100 時間以下
4. 100 時間超～

問14-1 . 問13で回答した時間外労働時間について、令和元年6月と比較して新型コロナウイルス感染症の影響により時間外労働時間数に増減はありましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった。

**問 15. あなたの令和元年 1 年間のおおよその時間外労働時間数（所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く）を教えてください。
(該当するものにチェックをしてください)**

1. 360 時間以下
2. 360 時間超～960 時間以下
3. 960 時間超～1860 時間以下
4. 1860 時間超～

問 16. あなたの令和 2 年 6 月の 1 か月間のおおよその時間外労働時間数のうち、時間外労働と申告しなかったおおよその時間を教えてください。(全て申告している場合は 0 を記入) (数字を入力)

おおよそ () 時間を申告していない

**問 17. あなたの令和 2 年 6 月の 1 か月間の時間外労働の主な理由を教えてください。
(該当するものすべてにチェックをしてください)**

1. 患者対応、ケア
2. 事務作業（記録・報告書作成や書類の整理等）
3. 新人教育・指導・フォロー
4. 入退院・転院・転棟に係る対応
5. 患者家族への対応
6. 緊急対応
7. 手術や外来対応等の延長
8. 委員会・会議・勉強会・研修会等への参加
9. 他職種・他機関との連絡調整
10. 勤務開始前の準備
11. その他 ()

問 18. あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 時間外労働時間どおり申告している ⇒問 18-2 へ
2. 時間外労働時間どおり申告していない ⇒問 18-1 へ

問 18-1. あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。

(該当するものすべてに○)

1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
2. 残業と認められない業務だから
3. 申告できる残業時間の上限が決められているから
4. 自分の都合や、自分のこだわりのために残業をしたから
5. 仕事が未熟でほかの人より時間がかかるから
6. 申告するのが面倒だから
7. 申告するのを忘れてしまうから
8. 申告の方法を知らないから
9. 時間外労働時間が短かったから
10. 年俸制だから
11. その他 ()

→10 を回答した場合は、何時間残業が含まれているかご存じですか。

知っている () 時間・知らない

問 18-2. あなたが申告した時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか。

(該当するものにチェックをしてください)

1. タイムレコーダー・タイムカード・IC カード・電子カルテのログ等の記録のとおり支払われている(制限なし)
2. 自己申告した時間どおり支払われている(制限なし)
3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払われていない
5. 年俸制であり時間外労働手当が含まれている
6. 時間外労働手当は支払われていない
7. その他 ()
8. わからない

<休日・休暇について伺います>

問 19. あなたの令和2年6月の①所定休日日数(※)及び②実際に業務を休んだ日数を教えてください。(数字を入力)

※: 所定休日日数とは病院・診療所が就業規則等で定めた休日のこと。

- ①所定休日日数 1. () 日 2. わからない
②実際に業務を休んだ日数 () 日

問 20. あなたの令和元年度の①年次有給休暇の付与日数(※)と②有給取得日数を教えてください。(数字を入力)

※: 年次有給休暇の付与日数とは、1年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

- ①あなたに付与された年次有給休暇日数 1. () 日 2. わからない
②あなたが取得した年次有給休暇日数 () 日

【一般の労働者の場合の例】

継続勤務年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

問 21. あなたは主とする勤務先以外で定期的にアルバイトを行っていますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 行っている 2. 行っていない

→1を回答した場合は、1か月あたりおよそ何日、合計何時間行っていますか。

() 日 () 時間・わからない

→1を回答した場合、アルバイトを行っていることを主契約の医療機関等に届け出ていますか (該当するものにチェックをしてください)。

1. アルバイト先、時間ともに届け出ている 2. アルバイト先のみ届け出ている
3. 時間のみ届け出ている 4. 届け出ていない
5. 主契約先がわからない

<当直・夜勤等について伺います>

問 22. 令和 2 年 6 月の当直（①宿直・②日直）・③夜勤（※）（交代制勤務の下で夜間に行った勤務）・④オンコール）の当番回数を教えてください。①②③④それぞれについて、該当がない場合には「0（ゼロ）」と回答してください。（数字を入力）

① 宿直	回	③夜勤	回
② 日直	回	④オンコール	回

アラート文：6 月の実施した回数です。30 回を超えることはありません。

※：夜勤とは法定労働時間内で夜間に勤務することを指しており、宿直（電話の対応や巡回、非常事態に備えての待機など、ほとんど労働する必要のない勤務のこと）とは異なる。

（問 22 で①に 1 以上の数値を入力した場合にのみ問 22-1～2 を表示）

問 22 で令和 2 年 6 月に宿直を行った方に伺います。

問 22-1. ご勤務先で決められている①宿直 1 回あたりの平均拘束時間数と②あなたの令和 2 年 6 月の宿直 1 回あたりの平均実労働時間数（患者対応など通常勤務時と同様の業務を行った時間数）を教えてください。（数字を入力）

- ① ご勤務先の宿直平均拘束時間数 （ ）時間（ ）分
 ② 宿直平均実労働時間数 （ ）時間（ ）分

問 22-2. 宿直明けの勤務について、どのような勤務割になっていますか。（該当するものにチェックをしてください）

1. 通常勤務で、業務内容の軽減はない
2. 通常勤務であるが、業務内容は軽減される
3. 短時間勤務で、業務内容の軽減はない
4. 短時間勤務で、業務内容も軽減される
5. 勤務なし（休み）
6. その他（ ）
7. 日によって異なる（具体的に： ）
8. わからない

問 23. あなたの令和2年6月のある勤務日の勤務の開始から勤務の終了までの時間が最も長い時間（職場に最も長くいた時間）について伺います。①当直（宿直・日直）時間を含む、勤務割上（※）の最長拘束時間と②その時の実際の労働時間数（休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む）を教えてください。（数字を入力）

①当直（宿直・日直）時間を含む最長拘束時間 約（ ）時間（ ）分

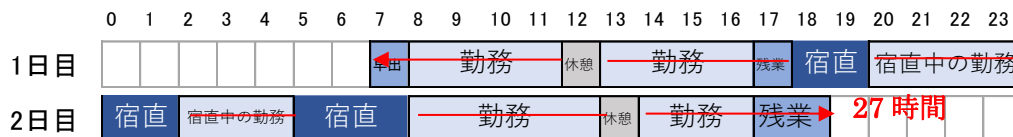
②①の実際の労働時間（休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む）
約（ ）時間（ ）分

①最長拘束時間の例:33時間



②①における実際の労働時間の例:27時間

（勤務時間に宿直で実際に休んだ時間と実際の休憩を除き、残業を加えた時間）



※：シフト表上や勤務計画表上のこと。

問 24. 問23で回答した①最長拘束時間について、令和元年6月と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響による増減はありましたか。（該当するものにチェックをしてください）

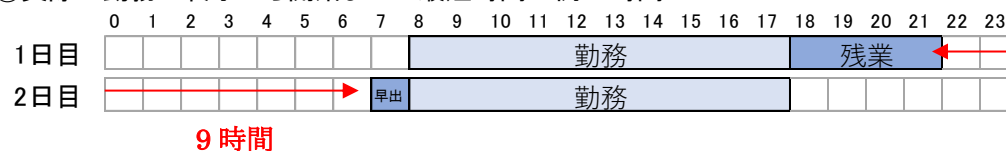
1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった。

問 25. あなたの令和2年6月のある勤務日の勤務（時間外労働を含む。）の終了から次の勤務の開始までの間隔が最も短い時間について伺います。①令和2年6月の勤務割上の最短時間と②実際の最短時間を教えてください。（数字を入力）

①勤務割上の最短時間 約（ ）時間（ ）分

②実際の最短時間 約（ ）時間（ ）分

②実際の勤務の終了から開始までの最短時間の例:9時間



問 25-1. あなたは、問 25 で回答したような短い間隔になることが、月にどのくらいありますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. よくある
2. ときどきある
3. めったにない

問 25-2. 問 25 で回答した時間数について、令和元年6月と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響による増減はありましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった。

<勤務環境等について伺います>

問 26. あなたのこの1か月間の睡眠の状況について教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 睡眠は十分にとれていた
2. 睡眠は比較的とれていた
3. どちらともいえない
4. 睡眠はあまりとれていなかった
5. 睡眠は不足していた

問 27. あなたは時間外労働時間を減らしたいと考えていますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 減らしたい
2. どちらでもよい
3. 減らしたくない

3を回答した場合、「減らしたくない」理由を教えてください

(最もあてはまるもの1つにチェックをしてください)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 研鑽をつみたい | 4. 患者の状態を確認しないと気がすまない |
| 2. 生活費を確保したい | 5. 緊急時に対応したい |
| 3. 他の人より早く帰りたくない | 6. その他 () |

問 28. あなたの現在の健康状態について教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 健康である | 4. どちらかという健康ではない |
| 2. どちらかという健康である | 5. 健康でない |
| 3. どちらともいえない | |

問 29. あなたは令和元年度に健康診断を受診しましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 受診した
2. 受診しなかった

問 29-1. 2 を回答した場合、"受診しなかった"理由を教えてください。

1. 忙しく、時間が取れなかった
2. 他の健診を受けた、または受ける予定がある(人間ドック等)
3. 産休・育休中だった
4. 対象外だった
5. その他()

問 30. あなたは令和元年度にストレスチェックを受診しましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 受診した
2. 受診しなかった

問 30-1. 2 を回答した場合、"受診しなかった"理由を教えてください。

1. 忙しく、時間が取れなかったため
2. 必要性を感じなかったため
3. 面倒だったため
4. 受診しても改善が期待できないため
5. ストレスをあまり感じていないため
6. チェックの対象外だったため
7. 機会、あるいは制度がないため
8. その他()

問 31. あなたは令和元年度に、長時間労働にかかる医師による面接指導を受けましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 受けた
2. 受けなかった

問 32. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、ご勤務先で取り組んでおり、あなたが勤務環境改善の効果を感じている項目を教えてください。(該当するものすべてにチェックをしてください)

I 働き方・休み方改善

取 組		い 取 組 ん で	効 果 が 高 い
労働時間管理	1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる	1	2
	2. 1 回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる	1	2
	3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	1	2
	4. 夜勤負担の軽減（夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等）を行っている	1	2
	5. 夜勤専従者への配慮（夜勤の時間・回数の制限等）を行っている	1	2
	6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している	1	2
	7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている	1	2
	8. 勤務間インターバル制度(※)を導入している	1	2
勤務負担軽減	9. 補助職（医師事務作業補助者、看護補助者等）を配置している	1	2
	10. 正職員について多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など）を活用している	1	2
	11. 当直（宿直・日直）明けの勤務者に対する配慮を行っている（連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等）	1	2

8. で「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。

⇒ () 時間

※：前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

勤務負担軽減	12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している	1	2
	13. チーム医療や多職種連携（業務分担・連携の強化等・タスクシフト※）により負担軽減を図っている	1	2
	14. 電子カルテやタブレット端末等のICT、IOT技術を活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	1	2
	15. タスクシェア※※による負担軽減を図っている	1	2
	16. 地域の医療機関との連携（オープンシステム、外来機能の分担等）を推進している	1	2

※：例）医師が行っていた事務的作業を医師事務作業補助者がサポートするようになった

※※：例）複数主治医制を導入した

13. で「取り組んでいる」と回答した方は、どのようなタスクシフトを行っていますか。

1. 医療クラーク（医師事務作業補助者）の導入、サポート
2. 医療クラーク以外での書類作成等の事務作業補助
3. 他職種への業務分担

15. で「取り組んでいる」と回答した方は、どのようなタスクシェアを行っていますか。

1. 複数主治医制の実施
2. 休日・時間外当番医制の実施
3. その他（ ）

問 33. 働き方全般に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

Ⅱ 職員の健康支援

取 組		い取り組んで	効果が高い
職員の健康支援	17. 健康診断の事後措置（医療上の措置、就業上の措置、保健指導等）を実施している	1	2
	18. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる	1	2
	19. 職員のメンタルヘルス教育研修を実施している	1	2
	20. 「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルス対策の取組を行っている	1	2
	21. 作業管理・作業環境対策（腰痛対策や眼精疲労対策等）に取り組んでいる	1	2
	22. 産業医を選任し、職員に周知している	1	2

問 34. 健康支援に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

15

ハラスメント対策 の メイン 等・	38. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している	1	2
	39. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている	1	2
風土・環境 整備	40. 職員の働く満足度の調査を行っている	1	2
	41. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している	1	2
	42. 職員の地域活動への支援（ボランティア活動支援等）を実施している	1	2
人材の 定着化	43. 定期的に職員の希望を把握し、配置や業務面の配慮をしている	1	2
	44. 複数主治医制を採用している	1	2

問 35. 働きやすさに関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

IV 働きがいの向上

取組		い取り組んで	効果が高い
キャリア形成支援	45. 施設外の研修への参加を支援している	1	2
	46. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている	1	2
	47. すべての職員のキャリア形成支援のために研修や子育てとの両立支援等に関する相談窓口の設置、情報提供等が実施されている	1	2
	48. 法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている	1	2
	49. 専門資格の取得を支援する制度を設けている	1	2
休業後のキャリア形成支援	50. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援（業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等）を行っている	1	2
	51. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	1	2
	52. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）を行っている	1	2

問 36. 仕事の充実感・達成感に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

問 37. 働き甲斐全般に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

V. その他

取 組		い 取 り 組 ん で	効 果 が 高 い
そ の 他	53. 患者満足度の調査を行っている	1	2
	54. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている	1	2
	55. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	1	2
	56. 医師や看護師に対し、賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている	1	2
	57. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている	1	2
	58. その他 ()	1	2

問 38. 勤務環境全般に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

以上でアンケート調査は終了です。

ご協力ありがとうございました。

コメディカルの皆様へ

コメディカルの勤務環境に関するアンケート調査へのご協力のお願い

厚生労働省委託事業 「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく
医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博（公益財団法人大原記念労働科学研究所）

拝啓 清涼の候、皆様におかれましては未曾有の災禍の中、ご苦勞はいかほどかと拝察致します。

世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、最前線で治療にご尽力されている医療従事者の皆様に、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。日本が他国のような感染拡大に至っていない状況は、感染の危険に身を投じながらも懸命に医療に従事されている皆様のご尽力の賜物と思慮致します。このような状況下で大変恐縮でございますが、以下の記載事項をご確認いただき、勤務環境改善に関するアンケートにご協力をお願い申し上げます。

1. アンケート調査の目的とお願い

平成26年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業による当委員会では、平成27年度から病院の勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施し、コメディカルの皆様の勤務環境の現状を公表するとともに、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の提言を行っています。

今年度も、医療従事者の「働き方・休み方」の現状や勤務環境改善の取組への評価等について継続的に把握するためアンケート調査を実施することとしました。本アンケート調査は、今後の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。回答内容については、統計処理の上、公表や都道府県等への情報提供を予定しています。アンケート調査は無記名であり、回答者の特定や、回答者ごとの回答が個別に明らかにされることは一切ありません。

なお、今年度は新型コロナウイルスの影響を問う項目を追加で設けています。勤務状況を踏まえてご回答をお願い申し上げます。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、令和2年12月10日（木）までに、「2. 回答方法」に従って回答いただきたく、ご協力のほど何とぞよろしくお願いいたします。

2. 回答方法

(1) 途中でWEBブラウザの「戻る」や「更新」ボタンは押さないようにご注意ください。

(2) 回答開始から1時間以内にお答えください。

※1時間以上離席される場合、必ず画面上部・下部の「一時保存し終了する」を押してください。

また、「途中再開用のユーザー名」を設定してください。

(3) 回答を再開する場合は、本アンケートのログイン画面にアクセスし、「途中再開用のユーザー名」を入力してください。途中保存したページから再開することができます。

3. アンケートの回答期限： 令和2年12月10日（木）まで

4. 本件に関する問い合わせ先

勤務環境アンケート調査事務局

- ・問い合わせ番号：0120-991-730
- ・メールアドレス：support@tohatsu-kinmukankyou-chosa.jp
- ・開局期間：11月10日（火）～12月10日（木）
- ・開局時間：月曜日～金曜日 10時～17時（土日祝休み）

問 1. あなたの年齢を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上

問 2. あなたの性別を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 女性 2. 男性 3. その他・答えたくない

問 3. あなたの職種を教えてください(1つに○)

1. 薬剤師 2. 臨床検査技師 3. 診療放射線技師 4. 臨床工学技士
5. 理学療法士・作業療法士などリハビリテーション職 6. 栄養士(管理栄養士含む)
7. MSW・PSW等ソーシャルワーカー 8. 歯科衛生士 9. 事務
10. 医師事務作業補助者 11. その他()

問 4. あなた自身の主な勤務形態を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 3交代制(変則含む)※
2. 2交代制(変則含む)※
3. 夜勤専従
4. 夜勤シフトに入っていない
5. 日勤のみ
6. それ以外
7. わからない

※:交代制勤務には24時間を2つのシフトに分ける「2交代制」や「3交代制」がある。各シフトの長さがほぼ均一なタイプのほか、変則的なタイプ(夜勤時間9～10時間の変則3交代制、夜勤時間13～16時間の変則2交代制など)がある

問 5. あなたの現職種におけるキャリア(通算経験年数)を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 1年未満 3. 3年未満 5. 10年未満 7. 20年以上
2. 2年未満 4. 5年未満 6. 20年未満

問 6. 現医療機関における、あなたの勤務年数を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数は含めずに回答してください。(数字を記入)

() 年

問7. ご勤務先の開設主体を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 国等(厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
2. 地方公共団体等(都道府県、市町村、地方独立行政法人)
3. 公的医療機関(日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
4. 社会保険関係団体(健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
5. 医療法人
6. 個人
7. その他(公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

問8. あなたが主に勤務する病床機能を教えて下さい。(該当するものにチェックをしてください)

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能

急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能

回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等

慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

<新型コロナウイルス感染症への対応状況について伺います>

問9. ご勤務先では、新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行っていますか。(令和2年6月時点。帰国者・接触者相談センターから紹介のあった疑い例の患者を含む) (該当するものにチェックをしてください)

1. 受け入れている
2. 受け入れていない

問10. あなたは、新型コロナウイルス感染症患者の対応を行っていますか。(令和2年6月時点。帰国者・接触者相談センターから紹介のあった疑い例の患者を含む) (該当するものにチェックをしてください)

1. 行っている
2. 行っていない

<労働時間について伺います>

問 11. あなたはご勤務先の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じですか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 知っている
2. 知らない

問 12. あなたの職場の労働時間の把握方法を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. タイムレコーダー・タイムカード
2. ICカード
3. 電子カルテなどのログ
4. 出勤簿・管理簿
5. 自己申告
6. その他 ()
7. 労働時間を管理していない

問 13. あなたの令和2年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数(所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く)を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 45 時間以下
2. 45 時間超～80 時間以下
3. 80 時間超～100 時間以下
4. 100 時間超～

問14 . 問13で回答した時間外労働時間について、令和元年6月と比較して新型コロナウイルス感染症の影響による時間外労働時間数に増減はありましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

問 15. あなたの令和元年1年間のおおよその時間外労働時間数(所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く)を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 360 時間以下
2. 360 時間超～960 時間以下
3. 960 時間超～1860 時間以下
4. 1860 時間超～

問 16. あなたの令和2年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数のうち、時間外労働と申告しなかったおおよその時間を教えてください。(全て申告している場合は0を記入)(数字を入力)

おおよそ()時間を申告していない

**問 17. あなたの令和2年6月の1か月間の時間外労働の主な理由を教えてください。
(該当するものすべてにチェックをしてください)**

1. 緊急対応
2. 手術や外来対応等の延長
3. 記録・報告書作成や書類の整理
4. 会議・勉強会・研修会等への参加
5. 他職種・他機関との連絡調整
6. 勤務開始前の準備
7. その他(具体的に)

問 18. あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 時間外労働時間どおり申告している ⇒問18-2へ
2. 時間外労働時間どおり申告していない ⇒問18-1へ

**問 18-1. あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。
(該当するものすべてにチェックをしてください)**

1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
2. 残業と認められない業務だから
3. 申告できる残業時間の上限が決められているから
4. 自分の都合や、自分のこだわりのために残業をしたから
5. 仕事が未熟でほかの人より時間がかかるから
6. 申告するのが面倒だから
7. 申告するのを忘れてしまうから
8. 申告の方法を知らないから
9. 時間外労働時間が短かったから
10. 年俸制だから
11. その他()

→10を回答した場合は、何時間残業が含まれているかご存じですか。

知っている()時間・知らない

問 18-2. あなたが申告した時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか。

(該当するものにチェックをしてください)

1. タイムレコーダー・タイムカード・IC カード・電子カルテのログ等の記録のとおり支払われている(制限なし)
2. 自己申告した時間どおりに支払われている(制限なし)
3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払われていない
5. 年俸制であり時間外労働手当が含まれている
6. 時間外労働手当は支払われていない
7. その他 ()
8. わからない

<休日・休暇について伺います>

問 19. あなたの令和2年6月の①所定休日日数(※)及び②実際に業務を休んだ日数を教えてください。(数字を入力)

※：所定休日日数とは病院・診療所が就業規則等で定めた休日のこと。

- ①所定休日日数 1. () 日 2. わからない
- ②実際に業務を休んだ日数 () 日

問 20. あなたの令和元年度の①年次有給休暇の付与日数(※)と②有給取得日数を教えてください。(数字を入力)

※：年次有給休暇の付与日数とは、1年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

- ①あなたに付与された年次有給休暇日数 1. () 日 2. わからない
- ②あなたが取得した年次有給休暇日数 () 日

【一般の労働者の場合の例】

継続勤務年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

問 21. あなたは主とする勤務先以外で定期的にアルバイトを行っていますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 行っている 2. 行っていない

→1 を回答した場合は、1 か月あたりおよそ何日、合計何時間行っていますか。

() 日 () 時間・わからない

→1 を回答した場合、アルバイトを行っていることを主契約の医療機関等に届け出ていますか (該当するものにチェックをしてください)。

1. アルバイト先、時間ともに届け出ている 2. アルバイト先のみ届け出ている
3. 時間のみ届け出ている 4. 届け出していない
5. 主契約先がわからない

<当直・夜勤等について伺います>

問 22. あなたの令和2年6月のある勤務日の勤務の開始から勤務の終了までの時間が最も長い時間(職場に最も長くいた時間)について伺います。①当直(宿直・日直)時間を含む、勤務割上(※)の最長拘束時間と②その時の実際の労働時間数(休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む)を教えてください。(数字を入力)

①当直(宿直・日直)時間を含む最長拘束時間 約 () 時間 () 分

②①の実際の労働時間(休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む)

約 () 時間 () 分

①最長拘束時間の例: 33時間



②①における実際の労働時間の例: 27時間

(勤務時間に宿直で実際に休んだ時間と実際の休憩を除き、残業を加えた時間)



※: シフト表上や勤務計画表上のこと。

問 23. 問22で回答した①最長拘束時間について、令和元年6月と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響による増減はありましたか。(該当するものにチェックをしてください)

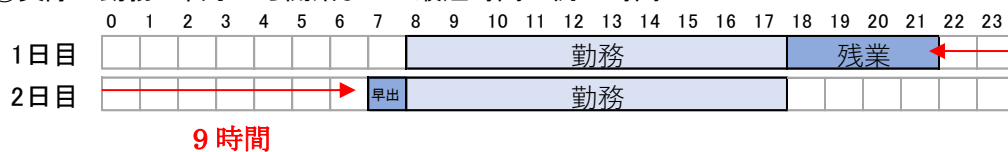
1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

問 24. あなたの令和2年6月のある勤務日の勤務(時間外労働を含む。)の終了から次の勤務の開始までの間隔が最も短い時間について伺います。①令和2年6月の勤務割上の最短時間と②実際の最短時間を教えてください。(数字を入力)

①勤務割上の最短時間 約()時間()分

②実際の最短時間 約()時間()分

②実際の勤務の終了から開始までの最短時間の例:9時間



問 25. あなたは、問24で回答したような短い間隔になることが、月にどのくらいありますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. よくある
2. ときどきある
3. めったにない

問 26. 問24で回答した時間数について、令和元年6月と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響による増減はありましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

<勤務環境等について伺います>

問 27. あなたのこの1か月間の睡眠の状況について教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 睡眠は十分にとれていた
2. 睡眠は比較的とれていた
3. どちらともいえない
4. 睡眠はあまりとれていなかった
5. 睡眠は不足していた

問 28. あなたは時間外労働時間を減らしたいと考えていますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 減らしたい
2. どちらでもよい
3. 減らしたくない

3 を回答した場合、"減らしたくない"理由を教えてください

(最もあてはまるものにチェックをしてください)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 研鑽をつみたい | 4. 患者の状態を確認しないと気がすまない |
| 2. 生活費を確保したい | 5. 緊急時に対応したい |
| 3. 他の人より早く帰りたくない | 6. その他 () |

問 29. あなたの現在の健康状態について教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 健康である | 4. どちらかという健康ではない |
| 2. どちらかという健康である | 5. 健康でない |
| 3. どちらともいえない | |

問 30. あなたは令和元年度に健康診断を受診しましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 受診した
2. 受診しなかった

問 30-1. 2 を回答した場合、"受診しなかった"理由を教えてください。

1. 忙しく、時間が取れなかった
2. 他の健診を受けた、または受ける予定がある(人間ドック等)
3. 産休・育休中だった
4. 対象外だった
5. その他 ()

問 31. あなたは令和元年度にストレスチェックを受診しましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 受診した
2. 受診しなかった

問 31-1. 2 を回答した場合、"受診しなかった"理由を教えてください。

1. 忙しく、時間が取れなかったため
2. 必要性を感じなかったため
3. 面倒だったため
4. 受診しても改善が期待できないため
5. ストレスをあまり感じていないため
6. チェックの対象外だったため
7. 機会、あるいは制度がないため
8. その他 ()

問 32. あなたは令和元年度に、長時間労働にかかる医師による面接指導を受けましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 受けた
2. 受けなかった

問 33. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、ご勤務先で取り組んでおり、あなたが勤務環境改善の効果を感じている項目を教えてください。(該当するものすべてにチェックをしてください)**I 働き方・休み方改善**

取 組		い取る組んで	効果が高い
労働時間管理	1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる	1	2
	2. 1 回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる	1	2
	3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	1	2
	4. 夜勤負担の軽減（夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等）を行っている	1	2
	5. 夜勤専従者への配慮（夜勤の時間・回数の制限等）を行っている	1	2
	6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している	1	2
	7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている	1	2
	8. 勤務間インターバル制度(※)を導入している	1	2
勤務負担軽減	9. 補助職（医師事務作業補助者、看護補助者等）を配置している	1	2
	10. 正職員について多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など）を活用している	1	2
	11. 当直（宿直・日直）明けの勤務者に対する配慮を行っている（連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等）	1	2

8. で「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。

⇒ () 時間

※：前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

勤務負担軽減	12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している	1	2
	13. チーム医療や多職種連携（業務分担・連携の強化等・タスクシフト※）により負担軽減を図っている	1	2
	14. 電子カルテやタブレット端末等のICT、IOT技術を活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	1	2
	15. タスクシェア※※による負担軽減を図っている	1	2
	16. 地域の医療機関との連携（オープンシステム、外来機能の分担等）を推進している	1	2

※：例）医師が行っていた事務的作業を医師事務作業補助者がサポートするようになった

※※：例）複数主治医制を導入した

13. で「取り組んでいる」と回答した方は、どのようなタスクシフトを行っていますか。

1. 医療クラーク（医師事務作業補助者）の導入、サポート
2. 医療クラーク以外での書類作成等の事務作業補助
3. 他職種への業務分担

15. で「取り組んでいる」と回答した方は、どのようなタスクシェアを行っていますか。

1. 複数主治医制の実施
2. 休日・時間外当番医制の実施
3. その他（ ）

問 34. 働き方全般に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

Ⅱ 職員の健康支援

取 組		い取り組んで	効果が高い
職員の健康支援	17. 健康診断の事後措置（医療上の措置、就業上の措置、保健指導等）を実施している	1	2
	18. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる	1	2
	19. 職員のメンタルヘルス教育研修を実施している	1	2
	20. 「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルス対策の取組を行っている	1	2
	21. 作業管理・作業環境対策（腰痛対策や眼精疲労対策等）に取り組んでいる	1	2
	22. 産業医を選任し、職員に周知している	1	2

問 35. 健康支援に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

ハラスメント対策 職員のいじめ等・	38. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している	1	2
	39. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている	1	2
風土・環境整備	40. 職員の働く満足度の調査を行っている	1	2
	41. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している	1	2
	42. 職員の地域活動への支援（ボランティア活動支援等）を実施している	1	2
人材の定着化	43. 定期的に職員の希望を把握し、配置や業務面の配慮をしている	1	2
	44. 複数主治医制を採用している	1	2

問 36. 働きやすさに関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

Ⅳ 働きがいの向上

取 組		い取り 組 んで	効果 が 高い
キャリア 形成 支援	45. 施設外の研修への参加を支援している	1	2
	46. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている	1	2
	47. すべての職員のキャリア形成支援のために研修や子育てとの両立支援等に関する相談窓口の設置、情報提供等が実施されている	1	2
	48. 法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている	1	2
	49. 専門資格の取得を支援する制度を設けている	1	2
休業 後の キャリア 形成 支援	50. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援（業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等）を行っている	1	2
	51. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	1	2
	52. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）を行っている	1	2

問 37. 仕事の充実感・達成感に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

問 38. 働き甲斐全般に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

V. その他

取 組		い 取 組 ん で	効 果 が 高 い
そ の 他	53. 患者満足度の調査を行っている	1	2
	54. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている	1	2
	55. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	1	2
	56. 医師や看護師に対し、賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている	1	2
	57. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている	1	2
	58. その他（ ）	1	2

問 39. 勤務環境全般に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

以上でアンケート調査は終了です。

ご協力ありがとうございました。

看護職の皆様へ

看護師の勤務環境に関するアンケート調査へのご協力をお願い

厚生労働省委託事業 「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく
医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博（公益財団法人大原記念労働科学研究所）

拝啓 清涼の候、皆様におかれましては未曾有の災禍の中、ご苦労はいかほどかと拝察致します。
世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、最前線で治療にご尽力されている医療従事者の
皆様に、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。日本が他国のような感染拡大に至っ
ていない状況は、感染の危険に身を投じながらも懸命に医療に従事されている皆様のご尽力の賜物と
思慮致します。このような状況下で大変恐縮でございますが、以下の記載事項をご確認いただき、勤
務環境改善に関するアンケートにご協力をお願い申し上げます。

1. アンケート調査の目的とお願い

平成26年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努
力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環
境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業による当委員会では、平成27年度から病院の勤務環境改善
の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施し、看護師の皆様の勤務環境の現状を公表するととも
に、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の提言を行っています。

今年度も、医療従事者の「働き方・休み方」の現状や勤務環境改善の取組への評価等について継続
的に把握するためアンケート調査を実施することとしました。本アンケート調査は、今後の施策の方
向性の検討等に活用される大変重要なものです。回答内容については、統計処理の上、公表や都道府
県等への情報提供を予定しています。アンケート調査は無記名であり、回答者の特定や、回答者ご
との回答が個別に明らかにされることは一切ありません。

なお、今年度は新型コロナウイルスの影響を問う項目を追加で設けています。勤務状況を踏まえて
ご回答をお願い申し上げます。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、令和2年12月10日（木）までに、「2. 回答方
法」に従って回答いただきたく、ご協力のほど何とぞよろしくお願いいたします。

2. 回答方法

(1) 途中でWEBブラウザの「戻る」や「更新」ボタンは押さないようにご注意ください。

(2) 回答開始から1時間以内にお答えください。

※1時間以上離席される場合、必ず画面上部・下部の「一時保存し終了する」を押してください。

また、「途中再開用のユーザー名」を設定してください。

(3) 回答を再開する場合は、本アンケートのログイン画面にアクセスし、「途中再開用のユーザー名」
を入力してください。途中保存したページから再開することができます。

3. アンケートの回答期限： 令和2年12月10日（木）まで

4. 本件に関する問い合わせ先

勤務環境アンケート調査事務局

- ・問い合わせ番号：0120-991-730
- ・メールアドレス：support@tohmatu-kinmukankyou-chosa.jp
- ・開局期間：11月10日（火）～12月10日（木）
- ・開局時間：月曜日～金曜日 10時～17時（土日祝休み）

問 1. あなたの年齢を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上

問 2. あなたの性別を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 女性 2. 男性 3. その他・答えたくない

問 3. あなた自身の主な勤務形態を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 3交代制(変則含む) ※
2. 2交代制(変則含む) ※
3. 夜勤専従
4. 夜勤シフトに入っていない
5. 日勤のみ
6. それ以外
7. わからない

※:交代制勤務には24時間を2つのシフトに分ける「2交代制」や「3交代制」がある。各シフトの長さがほぼ均一なタイプのほか、変則的なタイプ(夜勤時間9～10時間の変則3交代制、夜勤時間13～16時間の変則2交代制など)がある。

問 4. あなたの現職種におけるキャリア(通算経験年数)を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。(該当するものにチェックをしてください)

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 1年未満 | 3. 3年未満 | 5. 10年未満 | 7. 20年以上 |
| 2. 2年未満 | 4. 5年未満 | 6. 20年未満 | |

問 5. 現医療機関における、あなたの勤務年数を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数は含めずに回答してください。(数字を入力)

() 年

問 6. あなたが主に専門としている診療科（最も時間を費やしている診療科）を教えてください。（該当するものにチェックをしてください）

- | | | | | |
|----------------|------------|-----------------|-------------|----------------|
| 1. 内科 | 9. 皮膚科 | 17. 呼吸器外科 | 25. 整形外科 | 33. 婦人科 |
| 2. 呼吸器内科 | 10. アレルギー科 | 18. 心臓血管外科 | 26. 形成外科 | 34. リハビリテーション科 |
| 3. 循環器内科 | 11. リウマチ科 | 19. 乳腺外科 | 27. 美容外科 | 35. 放射線科 |
| 4. 消化器内科（胃腸内科） | 12. 感染症内科 | 20. 気管食道外科 | 28. 眼科 | 36. 麻酔科 |
| 5. 腎臓内科 | 13. 小児科 | 21. 消化器外科（胃腸外科） | 29. 耳鼻いんこう科 | 37. 病理診断科 |
| 6. 神経内科 | 14. 精神科 | 22. 泌尿器科 | 30. 小児外科 | 38. 臨床検査科 |
| 7. 糖尿病内科（代謝内科） | 15. 心療内科 | 23. 肛門外科 | 31. 産婦人科 | 39. 救急科 |
| 8. 血液内科 | 16. 外科 | 24. 脳神経外科 | 32. 産科 | 40. その他 |

問 7. ご勤務先の開設主体を教えてください。（該当するものにチェックをしてください）

1. 国等（厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関)）
2. 地方公共団体等（都道府県、市町村、地方独立行政法人）
3. 公的医療機関（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）
4. 社会保険関係団体（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）
5. 医療法人
6. 個人
7. その他（公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人）

問 8. あなたが主に勤務する病床機能を教えてください。（該当するものにチェックをしてください）

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| 1. 高度急性期 | 2. 急性期 | 3. 回復期 | 4. 慢性期 |
|----------|--------|--------|--------|

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等
慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

<新型コロナウイルス感染症への対応状況について伺います>

問 9. ご勤務先では、新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行っていますか。(令和2年6月時点。帰国者・接触者相談センターから紹介のあった疑い例の患者を含む) (該当するものにチェックをしてください)

1. 受け入れている
2. 受け入れていない

問 10. あなたは、新型コロナウイルス感染症患者の対応を行っていますか。(令和2年6月時点。帰国者・接触者相談センターから紹介のあった疑い例の患者を含む) (該当するものにチェックをしてください)

1. 行っている
2. 行っていない

<労働時間について伺います>

問 11. あなたはご勤務先の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じですか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 知っている
2. 知らない

問 12. あなたの職場の労働時間の把握方法を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. タイムレコーダー・タイムカード
2. ICカード
3. 電子カルテなどのログ
4. 出勤簿・管理簿
5. 自己申告
6. その他 ()
7. 労働時間を管理していない

問 13. あなたの令和2年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数(所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く)を教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

1. 45 時間以下
2. 45 時間超～80 時間以下
3. 80 時間超～100 時間以下
4. 100 時間超～

問14 . 問13で回答した時間外労働時間について、令和元年6月と比較して新型コロナウイルス感染症の影響による時間外労働時間数に増減はありましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

問 15. あなたの令和元年 1 年間のおおよその時間外労働時間数（所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く）を教えてください。

(該当するものにチェックをしてください)

1. 360 時間以下
2. 360 時間超～960 時間以下
3. 960 時間超～1860 時間以下
4. 1860 時間超～

問 16. あなたの令和 2 年 6 月の 1 か月間のおおよその時間外労働時間数のうち、時間外労働と申告しなかったおおよその時間を教えてください。(全て申告している場合は0を記入)

(数字を入力)

おおよそ（ ）時間を申告していない

問 17. あなたの令和 2 年 6 月の 1 か月間の時間外労働の主な理由を教えてください。

(該当するものすべてにチェックをしてください)

1. 患者対応、ケア
2. 事務作業（記録・報告書作成や書類の整理等）
3. 新人教育・指導・フォロー
4. 入退院・転院・転棟に係る対応
5. 患者家族への対応
6. 緊急対応
7. 手術や外来対応等の延長
8. 委員会・会議・勉強会・研修会等への参加
9. 他職種・他機関との連絡調整
10. 勤務開始前の準備
11. その他（ ）

問 18. あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 時間外労働時間どおり申告している ⇒問 18-2 へ
2. 時間外労働時間どおり申告していない ⇒問 18-1 へ

問18-1. あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。(該当するものすべてにチェックをしてください)

1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
2. 残業と認められない業務だから
3. 申告できる残業時間の上限が決められているから
4. 自分の都合や、自分のこだわりのために残業をしたから
5. 仕事が未熟でほかの人より時間がかかるから
6. 申告するのが面倒だから
7. 申告するのを忘れてしまうから
8. 申告の方法を知らないから
9. 時間外労働時間が短かったから
10. 年俸制だから
11. その他 ()

→10 を回答した場合は、何時間残業が含まれているかご存じですか。
知っている () 時間・知らない

問 18-2. あなたが申告した時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. タイムレコーダー・タイムカード・IC カード・電子カルテのログ等の記録のとおり支払われている(制限なし)
2. 自己申告した時間どおり支払われている(制限なし)
3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払われていない
5. 年俸制であり時間外労働手当が含まれている
6. 時間外労働手当は支払われていない
7. その他 ()
8. わからない

＜休日・休暇について伺います＞

問 19. あなたの令和2年6月の①所定休日日数(※)及び②実際に業務を休んだ日数を教えてください。(数字を入力)

※：所定休日日数とは病院・診療所が就業規則等で定めた休日のこと。

- ①所定休日日数 1. () 日 2. わからない
②実際に業務を休んだ日数 () 日

問 20. あなたの令和元年度の①年次有給休暇の付与日数(※)と②有給取得日数を教えてください。(数字を入力)

※：年次有給休暇の付与日数とは、1年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

- ①あなたに付与された年次有給休暇日数 1. () 日 2. わからない
②あなたが取得した年次有給休暇日数 () 日

【一般の労働者の場合の例】

継続勤務年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

問 21. あなたは主とする勤務先以外で定期的にアルバイトを行っていますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 行っている 2. 行っていない

→1を回答した場合は、1か月あたりおよそ何日、合計何時間行っていますか。

() 日 () 時間・わからない

→1を回答した場合、アルバイトを行っていることを主契約の医療機関等に届け出ていますか。(該当するものにチェックをしてください)

1. アルバイト先、時間ともに届け出ている 2. アルバイト先のみ届け出ている
3. 時間のみ届け出ている 4. 届け出ていない
5. 主契約先がわからない

<当直・夜勤等について伺います>

問 22. 令和2年6月の①夜勤(※)・②オンコールの当番日数を教えてください。なお、令和2年6月の途中で夜勤専従期間が開始または終了した方は、夜勤専従期間以外の回数を入力して下さい。(夜勤、オンコールの当番がなかった場合は0を記入)(数字を入力)

① 夜勤	回	②オンコール	回
------	---	--------	---

(①、②いずれも6月に実施した回数を記入してください。回数は30回を超えることはありません。)

※：夜勤とは法定労働時間内で夜間に勤務することを指しており、宿直（電話の対応や巡回、非常事態に備えての待機など、ほとんど労働する必要のない勤務のこと）とは異なる。

(問 22 で①に1以上の数値を入力した場合にのみ問 23-1 を表示)

問 23-1. あなたの令和2年6月の夜勤勤務について伺います。①令和2年6月の1か月間のおおよその総夜勤時間数、及び、問3で回答した主な勤務形態における夜勤の②勤務割上(※)の1回あたりの平均夜勤時間数と③実際の1回あたりの平均夜勤時間数(夜勤を行った際の時間外労働時間を含む。)を教えてください。(数字で入力)

- ①1か月間のおおよその総夜勤時間数 () 時間 () 分
- ②勤務割上 1 回の平均夜勤時間数 () 時間 () 分
うち、平均休憩・仮眠時間数 () 時間 () 分
- ③実際の 1 回の平均夜勤時間数 () 時間 () 分
うち、平均休憩・仮眠時間数 () 時間 () 分

※：シフト表上や勤務計画表上のこと。

問 24. あなたの令和2年6月のある勤務日の勤務の開始から勤務の終了までの時間が最も長い時間（職場に最も長くいた時間）について伺います。①当直（宿直・日直）時間を含む、勤務割上（※）の最長拘束時間と②その時の実際の労働時間数（休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む）を教えてください。（数字を入力）

①当直（宿直・日直）時間を含む最長拘束時間 約（ ）時間（ ）分

②①の実際の労働時間（休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む）
約（ ）時間（ ）分

①最長拘束時間の例:33時間



②①における実際の労働時間の例:27時間

（勤務時間に宿直で実際に休んだ時間と実際の休憩を除き、残業を加えた時間）



※：シフト表上や勤務計画表上のこと。

問 25. 問24で回答した①最長拘束時間について、令和元年6月と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響による増減はありましたか。（該当するものにチェックをしてください）

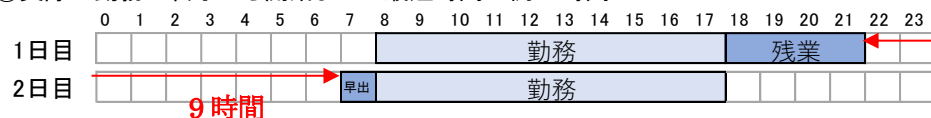
1. 影響を受け増加したと考えられる
2. 影響を受け減少したと考えられる
3. ほとんど影響はなかった

問 26. あなたの令和2年6月のある勤務日の勤務（時間外労働を含む。）の終了から次の勤務の開始までの間隔が最も短い時間について伺います。①令和2年6月の勤務割上の最短時間と②実際の最短時間を教えてください。（数字を入力）

①勤務割上の最短時間 約（ ）時間（ ）分

②実際の最短時間 約（ ）時間（ ）分

②実際の勤務の終了から開始までの最短時間の例:9時間



問 31. あなたの現在の健康状態について教えてください。(該当するものにチェックをしてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 健康である | 4. どちらかという健康ではない |
| 2. どちらかという健康である | 5. 健康でない |
| 3. どちらともいえない | |

問 32. あなたは令和元年度に健康診断を受診しましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 受診した
2. 受診しなかった

問 32-1. 2 を回答した場合、"受診しなかった"理由を教えてください。

1. 忙しく、時間が取れなかった
2. 他の健診を受けた、または受ける予定がある(人間ドック等)
3. 産休・育休中だった
4. 対象外だった
5. その他()

問 33. あなたは令和元年度にストレスチェックを受診しましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 受診した
2. 受診しなかった

問 33-1. 2 を回答した場合、"受診しなかった"理由を教えてください。

1. 忙しく、時間が取れなかったため
2. 必要性を感じなかったため
3. 面倒だったため
4. 受診しても改善が期待できないため
5. ストレスをあまり感じていないため
6. チェックの対象外だったため
7. 機会、あるいは制度がないため
8. その他()

問 34. あなたは令和元年度に、長時間労働にかかる医師による面接指導を受けましたか。(該当するものにチェックをしてください)

1. 受けた
2. 受けなかった

問35. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、ご勤務先で取り組んでおり、あなたが勤務環境改善の効果を感じている項目を教えてください。(該当するものすべてにチェックをしてください)

I 働き方・休み方改善

取 組		い 取 組 ん で	効 果 が 高 い
労働時間管理	1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる	1	2
	2. 1回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる	1	2
	3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	1	2
	4. 夜勤負担の軽減（夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等）を行っている	1	2
	5. 夜勤専従者への配慮（夜勤の時間・回数の制限等）を行っている	1	2
	6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している	1	2
	7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている	1	2
	8. 勤務間インターバル制度(※)を導入している	1	2
勤務負担軽減	9. 補助職（医師事務作業補助者、看護補助者等）を配置している	1	2
	10. 正職員について多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など）を活用している	1	2
	11. 当直（宿直・日直）明けの勤務者に対する配慮を行っている（連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等）	1	2

8. で「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。

⇒ () 時間

※：前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

勤務負担軽減	12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している	1	2
	13. チーム医療や多職種連携（業務分担・連携の強化等・タスクシフト※）により負担軽減を図っている	1	2
	14. 電子カルテやタブレット端末等のICT、IOT技術を活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	1	2
	15. タスクシェア※※による負担軽減を図っている	1	2
	16. 地域の医療機関との連携（オープンシステム、外来機能の分担等）を推進している	1	2

※：例）医師が行っていた事務的作業を医師事務作業補助者がサポートするようになった

※※：例）複数主治医制を導入した

13. で「取り組んでいる」と回答した方は、どのようなタスクシフトを行っていますか。

1. 医療クラーク（医師事務作業補助者）の導入、サポート
2. 医療クラーク以外での書類作成等の事務作業補助
3. 他職種への業務分担

15. で「取り組んでいる」と回答した方は、どのようなタスクシェアを行っていますか。

1. 複数主治医制の実施
2. 休日・時間外当番医制の実施
3. その他（ ）

問 36. 働き方全般に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

II 職員の健康支援

取 組		取り組んでいる	効果が高い
職員の健康支援	17. 健康診断の事後措置（医療上の措置、就業上の措置、保健指導等）を実施している	1	2
	18. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる	1	2
	19. 職員のメンタルヘルス教育研修を実施している	1	2
	20. 「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルス対策の取組を行っている	1	2
	21. 作業管理・作業環境対策（腰痛対策や眼精疲労対策等）に取り組んでいる	1	2
	22. 産業医を選任し、職員に周知している	1	2

問 37. 健康支援に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

Ⅲ 働きやすさ確保のための環境整備

取 組		い取り組んで	効果が 高い
仕事と子育て・介護等の両立支援	23. 男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている	1	2
	24. 法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している	1	2
	25. 院内保育所や提携保育所等を整備している	1	2
	26. 保育サービス（病児保育や夜間預かり保育等）を実施している	1	2
	27. 院内や近隣に学童保育を整備している	1	2
	28. 学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている	1	2
	29. 本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している	1	2
	30. 介護短時間勤務制度を導入している	1	2
	31. 法定以上の介護休業制度、介護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している	1	2
	32. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している	1	2
	33. 子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備している	1	2
	34. 保育・介護サービス利用料の補助制度（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している	1	2
	35. 子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている	1	2
	36. 子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている	1	2
	37. その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している	1	2

33. で「取り組んでいる」と回答した方は整備している制度を教えてください（該当するものすべてにチェックをしてください）

37. で「取り組んでいる」と回答した方は、具体的にどのような制度・取組か教えてください。
⇒（具体的に： ）

問 38. 働きやすさに関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

- 16 -

IV 働きがいの向上

取 組		る 取 組 ん で い	効 果 が 高 い
キャリア形成支援	45. 施設外の研修への参加を支援している	1	2
	46. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている	1	2
	47. すべての職員のキャリア形成支援のために研修や子育てとの両立支援等に関する相談窓口の設置、情報提供等が実施されている	1	2
	48. 法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている	1	2
	49. 専門資格の取得を支援する制度を設けている	1	2
休業後のキャリア形成支援	50. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援（業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等）を行っている	1	2
	51. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	1	2
	52. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）を行っている	1	2

問 39. 仕事の充実感・達成感に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

問 40. 働き甲斐全般に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

V. その他

取 組		い 取 組 ん で	効 果 が 高 い
そ の 他	53. 患者満足度の調査を行っている	1	2
	54. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている	1	2
	55. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	1	2
	56. 医師や看護師に対し、賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている	1	2
	57. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている	1	2
	58. その他 ()	1	2

問 41. 勤務環境全般に関する満足度（該当するものにチェックをしてください）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

以上でアンケート調査は終了です。

ご協力ありがとうございました。